

(1) 県政への要望

(複数回答:3つまで)

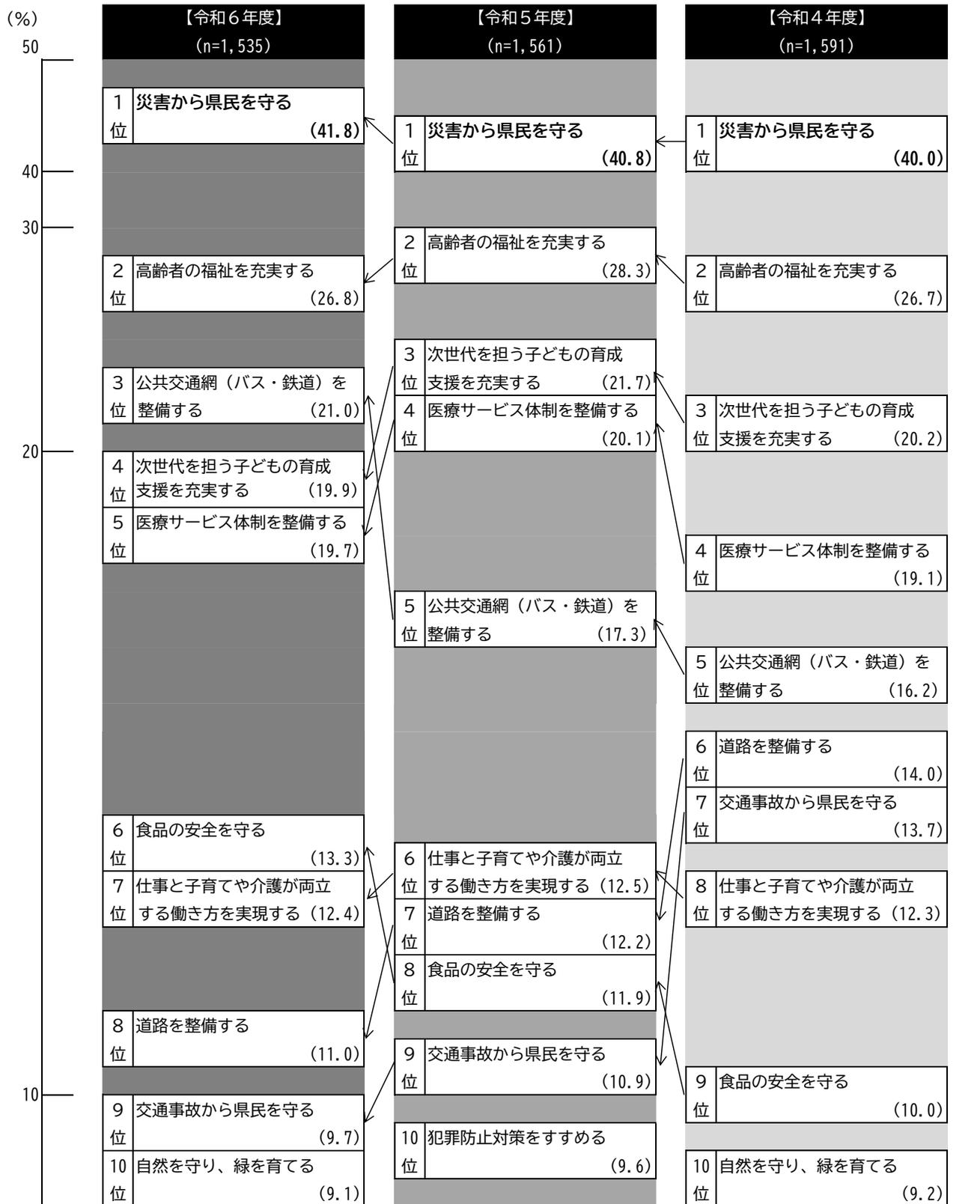
| 項目                        | 順位  | n=1,535 |    |    |    |    | n=1,561 |               | n=1,591        |  |
|---------------------------|-----|---------|----|----|----|----|---------|---------------|----------------|--|
|                           |     | 0       | 10 | 20 | 30 | 40 | 50(%)   | 前回<br>(令和5年度) | 前々回<br>(令和4年度) |  |
| 災害から県民を守る                 | 1位  |         |    |    |    |    | 41.8    | 1位 40.8       | 1位 40.0        |  |
| 高齢者の福祉を充実する               | 2位  |         |    |    |    |    | 26.8    | 2位 28.3       | 2位 26.7        |  |
| 公共交通網(バス・鉄道)を整備する         | 3位  |         |    |    |    |    | 21.0    | 5位 17.3       | 5位 16.2        |  |
| 次世代を担う子どもの育成支援を充実する       | 4位  |         |    |    |    |    | 19.9    | 3位 21.7       | 3位 20.2        |  |
| 医療サービス体制を整備する             | 5位  |         |    |    |    |    | 19.7    | 4位 20.1       | 4位 19.1        |  |
| 食品の安全を守る                  | 6位  |         |    |    |    |    | 13.3    | 8位 11.9       | 9位 10.0        |  |
| 仕事と子育てや介護が両立する働き方を実現する    | 7位  |         |    |    |    |    | 12.4    | 6位 12.5       | 8位 12.3        |  |
| 道路を整備する                   | 8位  |         |    |    |    |    | 11.0    | 7位 12.2       | 6位 14.0        |  |
| 交通事故から県民を守る               | 9位  |         |    |    |    |    | 9.7     | 9位 10.9       | 7位 13.7        |  |
| 自然を守り、緑を育てる               | 10位 |         |    |    |    |    | 9.1     | 12位 9.4       | 10位 9.2        |  |
| 犯罪防止対策をすすめる               | 11位 |         |    |    |    |    | 8.7     | 10位 9.6       | 12位 8.9        |  |
| 温暖化対策、循環型社会を推進する          | 12位 |         |    |    |    |    | 8.3     | 11位 9.5       | 13位 8.7        |  |
| 健康づくりをすすめて、病気を予防する        | 13位 |         |    |    |    |    | 6.7     | 15位 6.3       | 17位 5.5        |  |
| 安心して飲める良質な水道水を供給する        | 14位 |         |    |    |    |    | 6.6     | 14位 6.7       | 20位 5.3        |  |
| 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する    | 15位 |         |    |    |    |    | 6.5     | 13位 8.1       | 11位 9.2        |  |
| 雇用の場を広げる                  | 16位 |         |    |    |    |    | 6.3     | 17位 6.0       | 14位 7.4        |  |
| 学校教育を充実する                 | 16位 |         |    |    |    |    | 6.3     | 18位 6.0       | 16位 5.9        |  |
| 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる  | 18位 |         |    |    |    |    | 5.5     | 22位 4.4       | 22位 4.6        |  |
| 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる      | 19位 |         |    |    |    |    | 5.1     | 19位 5.3       | 21位 4.7        |  |
| 中心市街地の活性化を推進する            | 20位 |         |    |    |    |    | 4.8     | 20位 4.9       | 17位 5.5        |  |
| ひとり親家庭等の福祉を充実する           | 21位 |         |    |    |    |    | 4.8     | 16位 6.2       | 15位 6.2        |  |
| 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する    | 22位 |         |    |    |    |    | 4.5     | 27位 3.7       | 29位 3.1        |  |
| 公園・緑地を整備する                | 23位 |         |    |    |    |    | 4.2     | 21位 4.5       | 24位 4.3        |  |
| 下水道を整備する                  | 24位 |         |    |    |    |    | 4.2     | 24位 4.2       | 27位 3.6        |  |
| 観光を振興する                   | 25位 |         |    |    |    |    | 4.1     | 22位 4.4       | 28位 3.5        |  |
| 豊かな住生活を実現する               | 26位 |         |    |    |    |    | 3.8     | 28位 3.6       | 23位 4.4        |  |
| 青少年を健全に育てる                | 27位 |         |    |    |    |    | 3.4     | 25位 4.2       | 17位 5.5        |  |
| 廃棄物対策をすすめる                | 28位 |         |    |    |    |    | 3.1     | 26位 3.9       | 26位 4.0        |  |
| 商工業を振興し、地域経済の担い手を育成する     | 28位 |         |    |    |    |    | 3.1     | 29位 2.9       | 25位 4.0        |  |
| 芸術・文化活動を振興する              | 30位 |         |    |    |    |    | 2.6     | 30位 2.8       | 31位 2.5        |  |
| 国際交流・協力や外国人県民との共生をすすめる    | 31位 |         |    |    |    |    | 2.3     | 32位 2.1       | 34位 1.9        |  |
| 男女共同参画を推進する               | 32位 |         |    |    |    |    | 1.6     | 33位 1.5       | 33位 2.1        |  |
| 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する   | 32位 |         |    |    |    |    | 1.6     | 31位 2.6       | 30位 2.9        |  |
| 地域課題解決に向けた市民活動や協働の取組を推進する | 34位 |         |    |    |    |    | 1.3     | 35位 1.4       | 35位 1.1        |  |
| 施策実現や地域活性化のためにDX(*)を推進する  | 35位 |         |    |    |    |    | 1.0     | 33位 1.5       | 32位 2.2        |  |
| その他                       |     |         |    |    |    |    | 2.1     |               | 2.0            |  |
| 要望はない                     |     |         |    |    |    |    | 1.2     |               | 1.2            |  |
| 無回答                       |     |         |    |    |    |    | 0.7     |               | 0.7            |  |

(注) 「施策実現や地域活性化のためにDX(\*)を推進する」は令和4年度では「施策実現や地域活性化のためのICT(情報通信技術)の利活用をすすめる」

(\*) DX=デジタルトランスフォーメーション

- 「災害から県民を守る」は平成23年度から1位となっており、2位以下に比べて高い傾向が続いている。
- 「公共交通網(バス・鉄道)を整備する」(21.0%)は、前々回(16.2%)、前回(17.3%)とも5位であったが、今回初めて3位に上がっている。

■ 県政への要望／上位10項目の推移

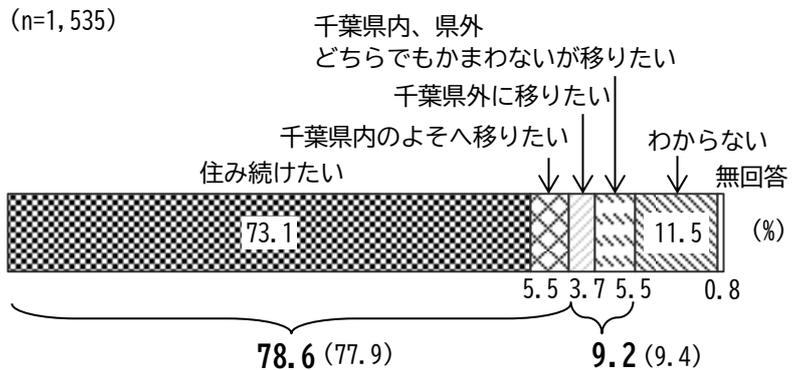


# 1 環境と生活について

## (1) 今後の居住意向

現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(73.1%)が7割を超え、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(5.5%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい(計)』(78.6%)が約8割となっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(3.7%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(5.5%)を合わせた『移りたい(計)』(9.2%)が約1割となっている。

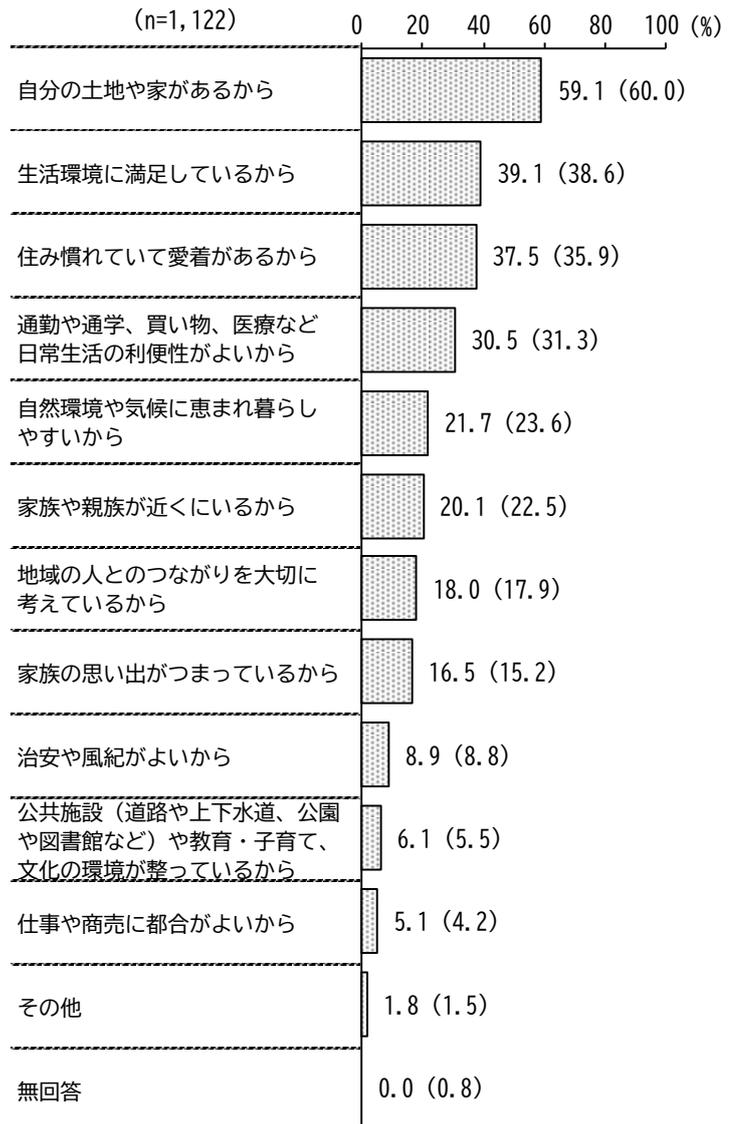


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (1-1) 住み続けたい理由

(複数回答:3つまで)

「住み続けたい」と回答した1,122人を対象に、住み続けたい理由を聞いたところ、「自分の土地や家があるから」(59.1%)が約6割で最も高く、以下、「生活環境に満足しているから」(39.1%)、「住み慣れていて愛着があるから」(37.5%)、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性がよいから」(30.5%)が続く。

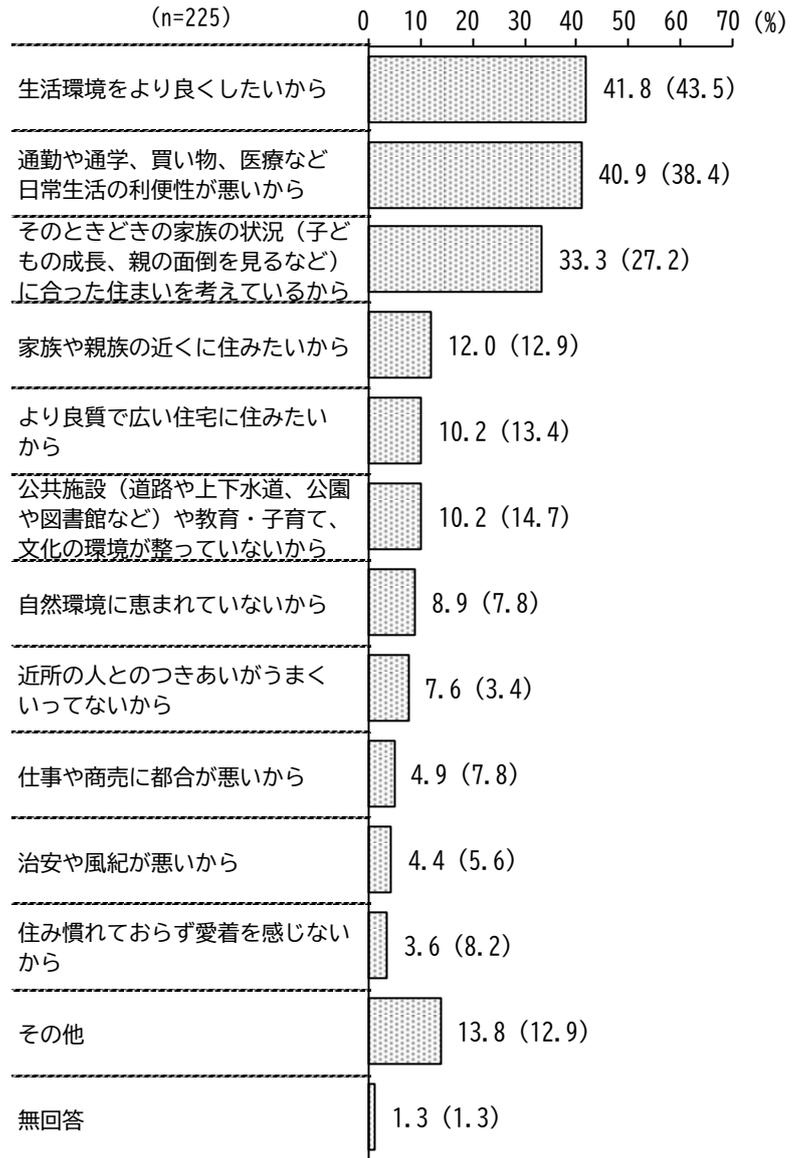


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (1-2) 移りたい理由

(複数回答:3つまで)

「移りたい」と回答した225人を対象に、移りたい理由を聞いたところ、「生活環境をより良くしたいから」(41.8%)が4割を超えて最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など日常生活の利便性が悪いから」(40.9%)、「そのときどきの家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)に合った住まいを考えているから」(33.3%)、「家族や親族の近くに住みたいから」(12.0%)が続く。

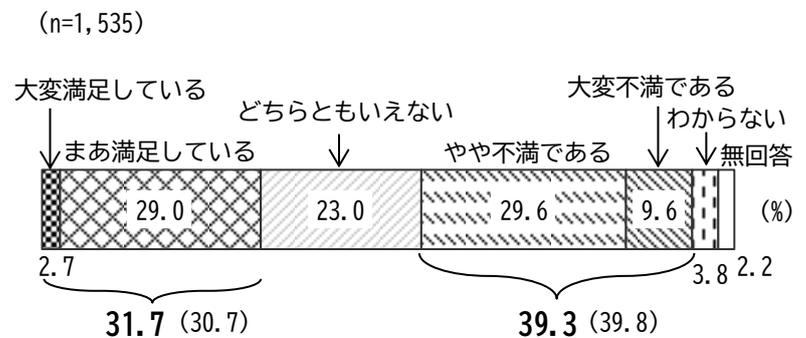


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (2) 県内の道路状況の満足度

県内の道路状況の満足度を聞いたところ、「大変満足している」(2.7%)と「まあ満足している」(29.0%)を合わせた『満足している(計)』(31.7%)が3割を超えている。

一方、「やや不満である」(29.6%)と「大変不満である」(9.6%)を合わせた『不満である(計)』(39.3%)は約4割となっている。

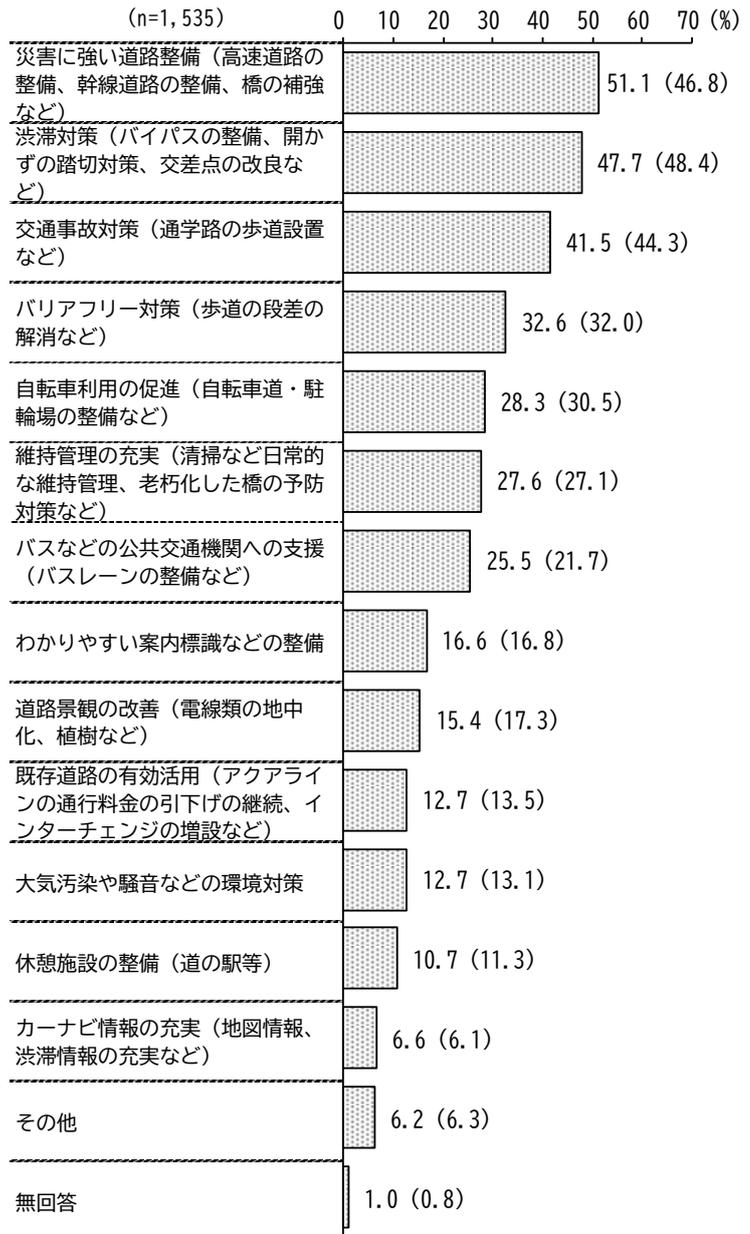


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (3) 今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題

(複数回答:いくつでも)

今後、道路整備をしていく上で優先的に対策すべき課題を聞いたところ、「災害に強い道路整備（高速道路の整備、幹線道路の整備、橋の補強など）」（51.1%）が5割を超えて最も高く、以下、「渋滞対策（バイパスの整備、開かずの踏切対策、交差点の改良など）」（47.7%）、「交通事故対策（通学路の歩道設置など）」（41.5%）、「バリアフリー対策（歩道の段差の解消など）」（32.6%）が続く。

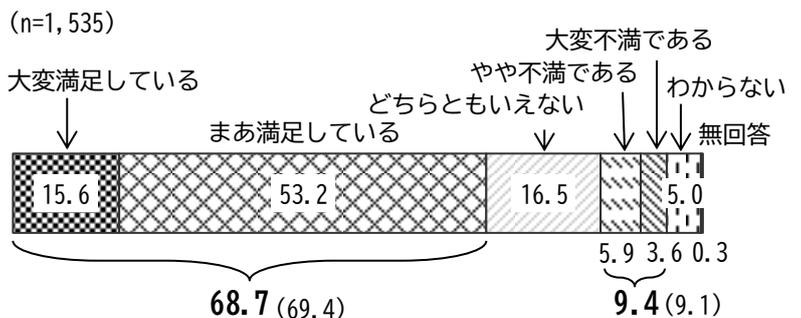


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (4) 上水道の整備の満足度

現在お住まいの地域の上水道の整備の満足度を聞いたところ、「大変満足している」(15.6%)と「まあ満足している」(53.2%)を合わせた『満足している(計)』(68.7%)が約7割となっている。

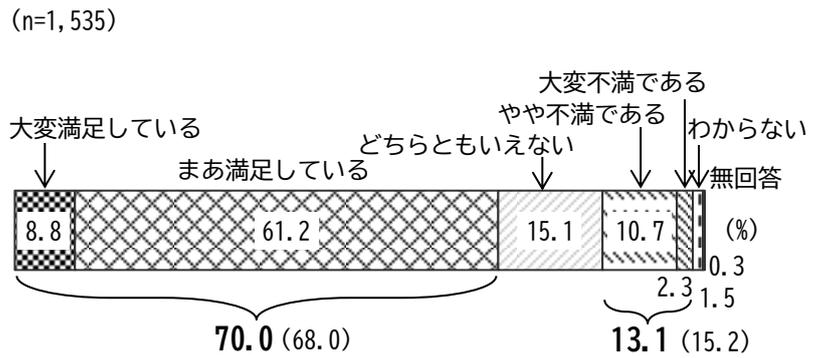
一方、「やや不満である」(5.9%)と「大変不満である」(3.6%)を合わせた『不満である(計)』(9.4%)が約1割となっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (5)住生活全般の満足度

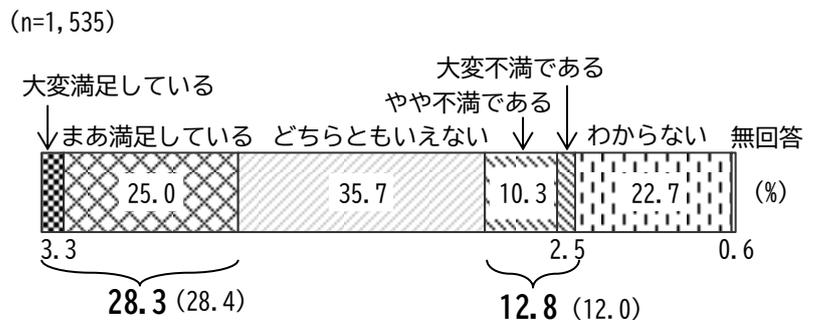
現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（8.8%）と「まあ満足している」（61.2%）を合わせた『満足している（計）』（70.0%）が7割となっている。一方、「やや不満である」（10.7%）と「大変不満である」（2.3%）を合わせた『不満である（計）』（13.1%）が1割を超えている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (6)消費生活全般の満足度

消費生活全般（消費者トラブルの相談体制、消費者教育の機会、悪質商法への対策、生活必需品の安定供給など）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（3.3%）と「まあ満足している」（25.0%）を合わせた『満足している（計）』（28.3%）が約3割となっている。一方、「やや不満である」（10.3%）と「大変不満である」（2.5%）を合わせた『不満である（計）』（12.8%）が1割を超えている。

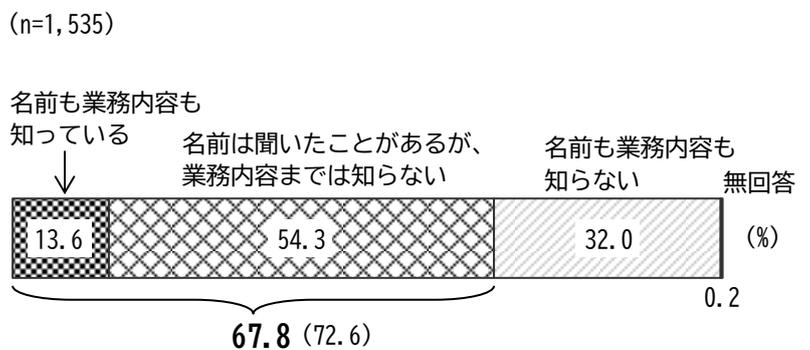


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (7)「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」の認知度

「県の消費者センター」や「市町村の消費生活センター」を知っているか聞いたところ、「名前も業務内容も知っている」（13.6%）と「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」（54.3%）を合わせた『名前を聞いたことがある（計）』（67.8%）が約7割となっている。

一方、「名前も業務内容も知らない」（32.0%）が3割を超えている。



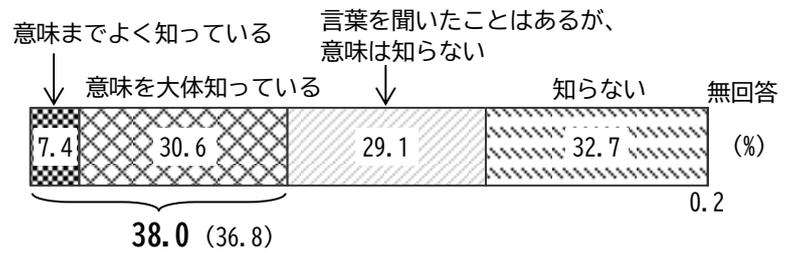
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (8)「気候変動による影響への適応」の認知度

「気候変動による影響への適応」について、その認知度を聞いたところ、「意味までよく知っている」(7.4%)と「意味を大体知っている」(30.6%)を合わせた『意味を知っている(計)』(38.0%)が約4割となっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(29.1%)は約3割、「知らない」(32.7%)は3割を超えている。

(n=1,535)



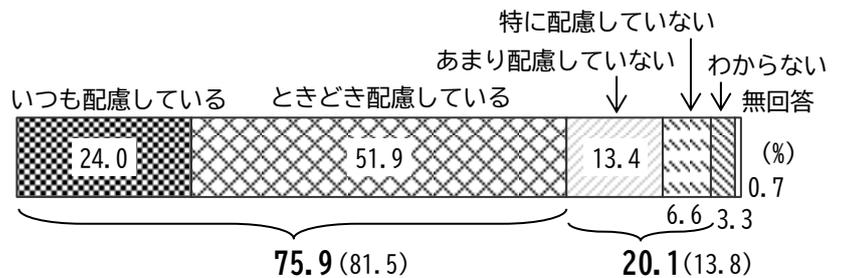
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (9)環境に配慮した行動

日常生活の中で環境に配慮して行動しているか聞いたところ、「いつも配慮している」(24.0%)と「ときどき配慮している」(51.9%)を合わせた『配慮している(計)』(75.9%)が7割台半ばとなっている。

一方、「あまり配慮していない」(13.4%)と「特に配慮していない」(6.6%)を合わせた『配慮していない(計)』(20.1%)が2割となっている。

(n=1,535)

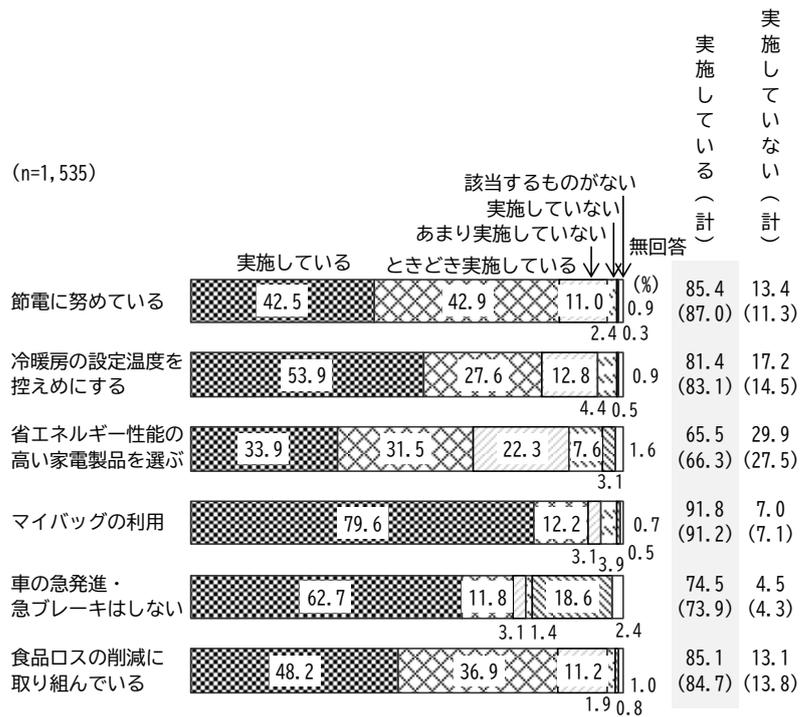


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (10) 普段の生活で環境に配慮した取組の実施状況

普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」と「ときどき実施している」を合わせた『実施している(計)』が最も高いのは、「マイバッグの利用」(91.8%)で9割を超え、以下、「節電に努めている」(85.4%)と「食品ロスの削減に取り組んでいる」(85.1%)が8割台半ばで続く。

一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない(計)』が最も高いのは、「省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(29.9%)で約3割となっており、以下、「冷暖房の設定温度を控えめにする」(17.2%)が約2割、「節電に努めている」(13.4%)が1割を超えて続く。

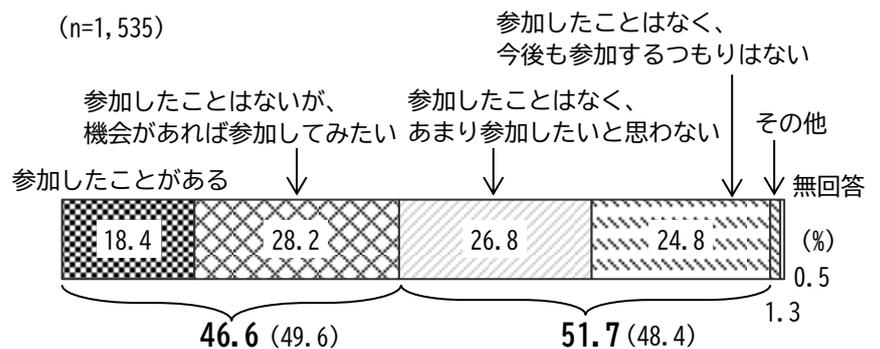


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (11) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況

環境保全に関する講演やセミナー(オンライン参加含む)、環境ボランティア活動への参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」(18.4%)が約2割となっており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(28.2%)を合わせた『参加意向あり(計)』(46.6%)が4割台半ばとなっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」(26.8%)と「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(24.8%)を合わせた『参加意向なし(計)』(51.7%)が5割を超えている。

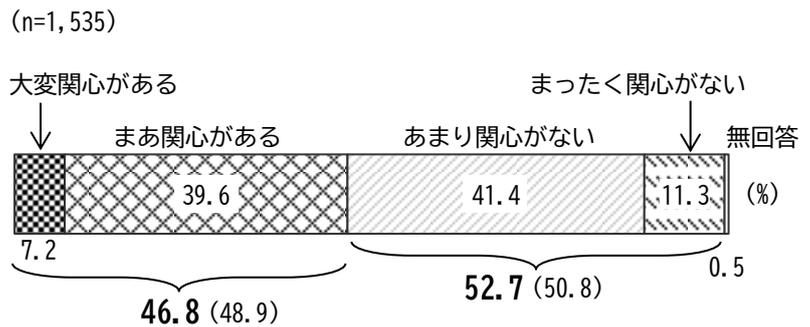


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (12) 市民活動団体やボランティア活動の関心度

市民活動団体の活動や、ボランティア活動への関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(7.2%)と「まあ関心がある」(39.6%)を合わせた『関心がある(計)』(46.8%)が4割台半ばとなっている。

一方、「あまり関心がない」(41.4%)と「まったく関心がない」(11.3%)を合わせた『関心がない(計)』(52.7%)が5割を超えている。

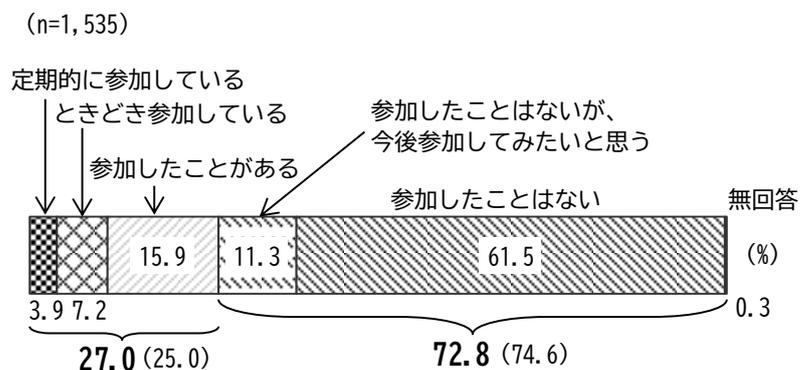


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (13) 市民活動団体の活動への参加経験

市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.9%)、「ときどき参加している」(7.2%)、「参加したことがある」(15.9%)の3つを合わせた『参加したことがある(計)』(27.0%)が約3割となっている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(11.3%)と「参加したことはない」(61.5%)を合わせた『参加したことはない(計)』(72.8%)が7割を超えている。

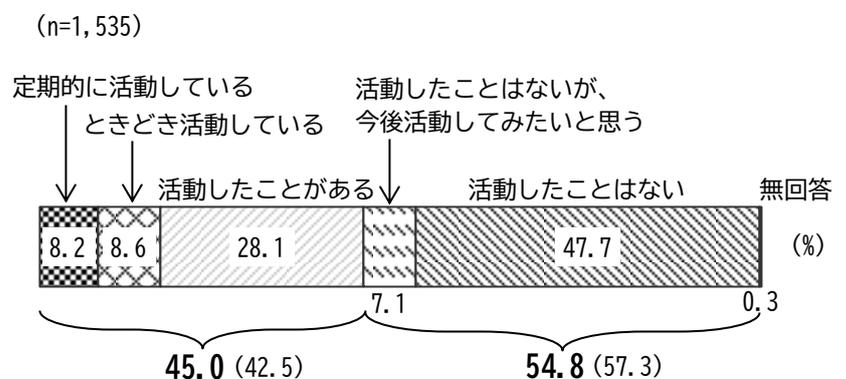


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (14) ボランティア活動経験

ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的に参加している」(8.2%)、「ときどき活動している」(8.6%)、「活動したことがある」(28.1%)の3つを合わせた『活動したことがある(計)』(45.0%)が4割台半ばとなっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(7.1%)と「活動したことはない」(47.7%)を合わせた『活動したことはない(計)』(54.8%)が5割台半ばとなっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (15)この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験

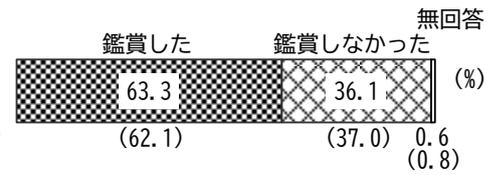
この1年間の文化芸術の鑑賞及び活動の経験を聞いたところ、鑑賞については「オンラインやテレビでの鑑賞」(65.3%)が6割台半ば、「直接の鑑賞」(63.3%)が6割を超えている。

活動については「直接の文化芸術活動」(26.2%)が2割台半ば、「オンラインでの文化芸術活動」(9.4%)が約1割となっている。

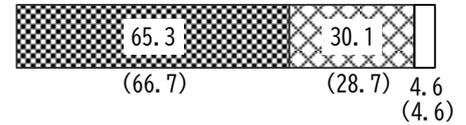
(n=1,535)

### 直接の鑑賞

(施設での音楽鑑賞、美術館や博物館での展覧会の鑑賞、舞台公演鑑賞、史跡めぐり、読書、映画館での鑑賞など)



### オンラインやテレビでの鑑賞



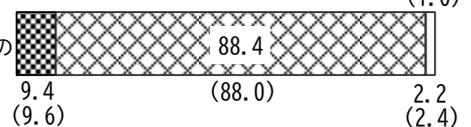
### 直接の文化芸術活動

(創作、音楽の演奏や舞台等への出演、習い事、趣味を同じくするグループでの活動、地域の祭りや体験活動への参加など)



### オンラインでの文化芸術活動

(動画や写真の投稿、デジタルアートの創作など)



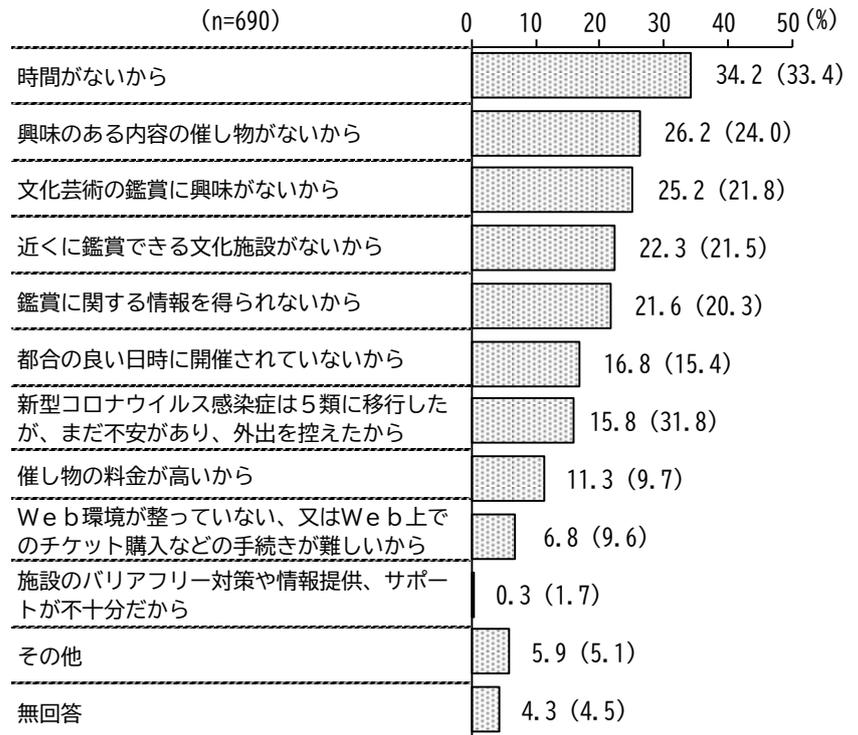
注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (15-1)文化芸術を鑑賞しなかった理由

(複数回答:いくつでも)

この1年間の文化芸術の鑑賞について、直接またはオンラインやテレビで鑑賞しなかったと回答した690人を対象に、鑑賞しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」(34.2%)が3割台半ばで最も高く、以下、「興味のある内容の催し物がないから」(26.2%)、「文化芸術の鑑賞に興味がないから」(25.2%)、「近くに鑑賞できる文化施設がないから」(22.3%)、「鑑賞に関する情報を得られないから」(21.6%)、「都合の良い日時に開催されていないから」(16.8%)、「新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、まだ不安があり、外出を控えたから」(15.8%)が続く。

(n=690)



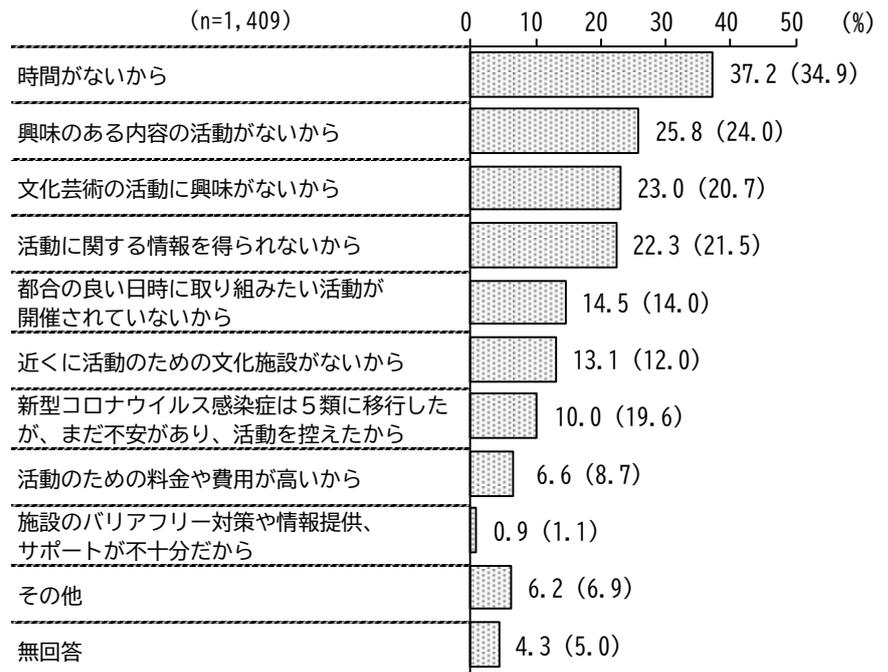
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

注) 「新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、まだ不安があり、外出を控えたから」は、令和5年度調査では「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたから」で実施

## (15-2)文化芸術活動をしなかった理由

(複数回答:いくつでも)

この1年間の文化芸術活動について、直接またはオンラインで活動しなかったと回答した1,409人を対象に、活動しなかった理由を聞いたところ、「時間がないから」(37.2%)が約4割で最も高く、以下、「興味のある内容の活動がないから」(25.8%)、「文化芸術の活動に興味がないから」(23.0%)、「活動に関する情報を得られないから」(22.3%)が続く。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

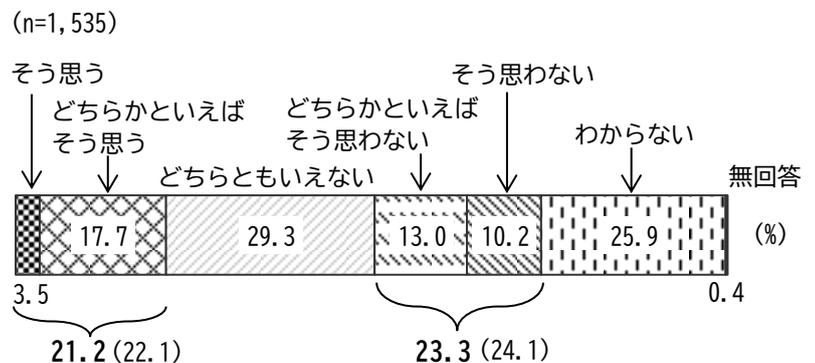
注) 「新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、まだ不安があり、活動を控えたから」は、令和5年度調査では「新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を控えたから」で実施

## (16)文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境の整備状況

千葉県において、文化芸術に触れ、自ら取り組むことができる環境が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(3.5%)と「どちらかといえばそう思う」(17.7%)を合わせた『そう思う(計)』(21.2%)が2割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(13.0%)と「そう思わない」(10.2%)を合わせた『そう思わない(計)』(23.3%)が2割を超えている。

また、「どちらともいえない」(29.3%)が約3割、「わからない」(25.9%)が2割台半ばとなっている。



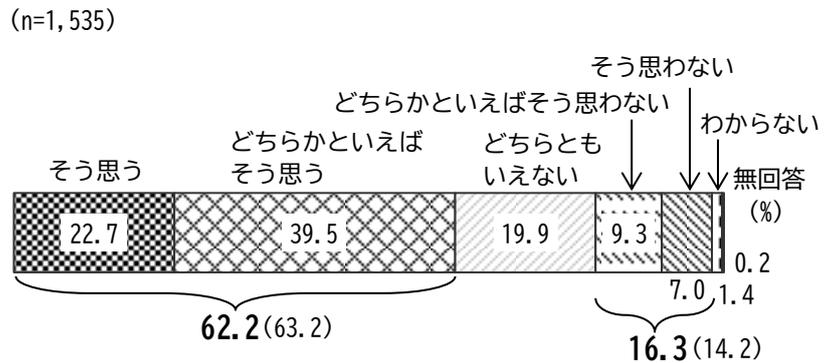
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## 2 健康について

### (1)健康づくりへの取組状況

積極的に健康づくりに取り組んでいるか聞いたところ、「そう思う」(22.7%)と「どちらかといえばそう思う」(39.5%)を合わせた『そう思う(計)』(62.2%)が6割を超えている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.3%)と「そう思わない」(7.0%)を合わせた『そう思わない(計)』(16.3%)が1割台半ばとなっている。

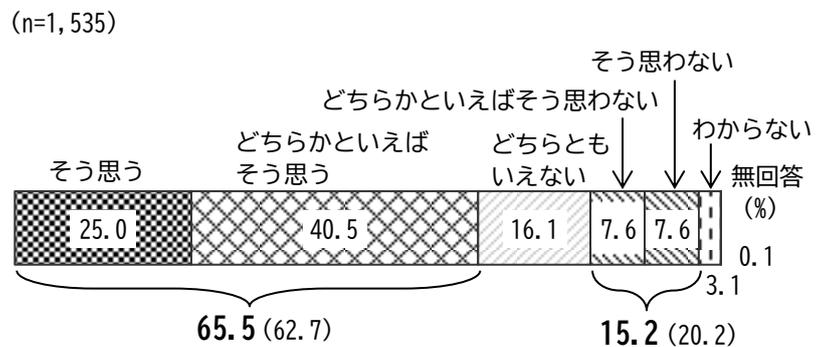


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (2)安心して受診できる医療体制

住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(25.0%)と「どちらかといえばそう思う」(40.5%)を合わせた『そう思う(計)』(65.5%)が6割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.6%)と「そう思わない」(7.6%)を合わせた『そう思わない(計)』(15.2%)が1割台半ばとなっている。



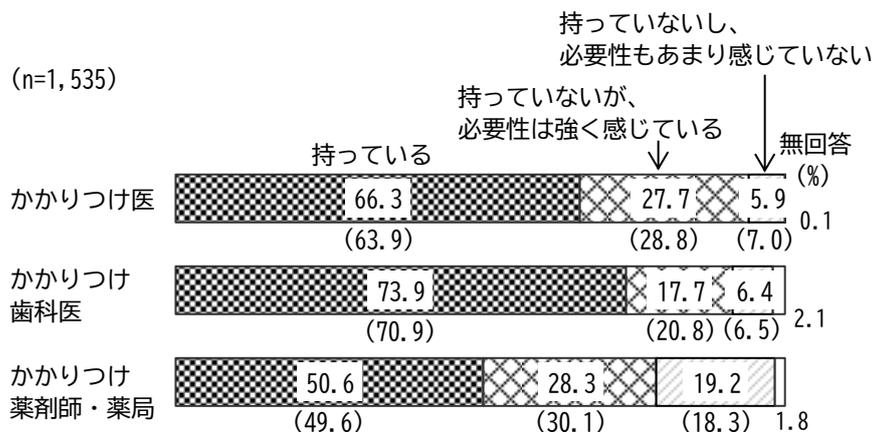
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (3)かかりつけ医の有無

かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉(73.9%)が7割台半ば、〈かかりつけ医〉(66.3%)が6割台半ば、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉(50.6%)が5割となっている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉(28.3%)と〈かかりつけ医〉(27.7%)が約3割、〈かかりつけ歯科医〉(17.7%)が約2割となっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉(19.2%)が約2割となっている。



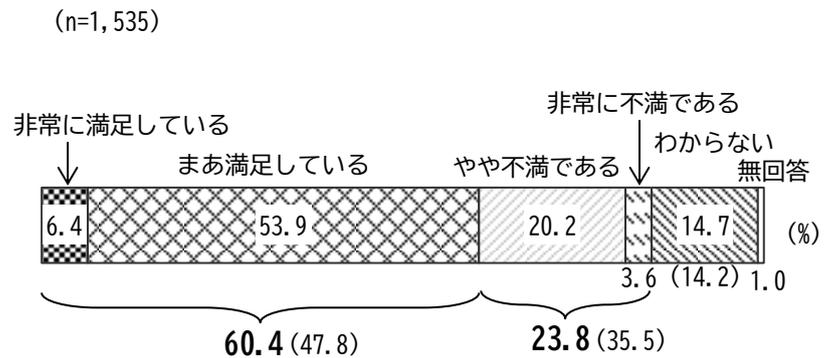
注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### 3 医療について

#### (1) 県内の医療の満足度

県内の医療の満足度を聞いたところ、「非常に満足している」(6.4%)と「まあ満足している」(53.9%)を合わせた『満足している(計)』(60.4%)が6割となっている。

一方、「やや不満である」(20.2%)と「非常に不満である」(3.6%)を合わせた『不満である(計)』(23.8%)は2割台半ばとなっている。

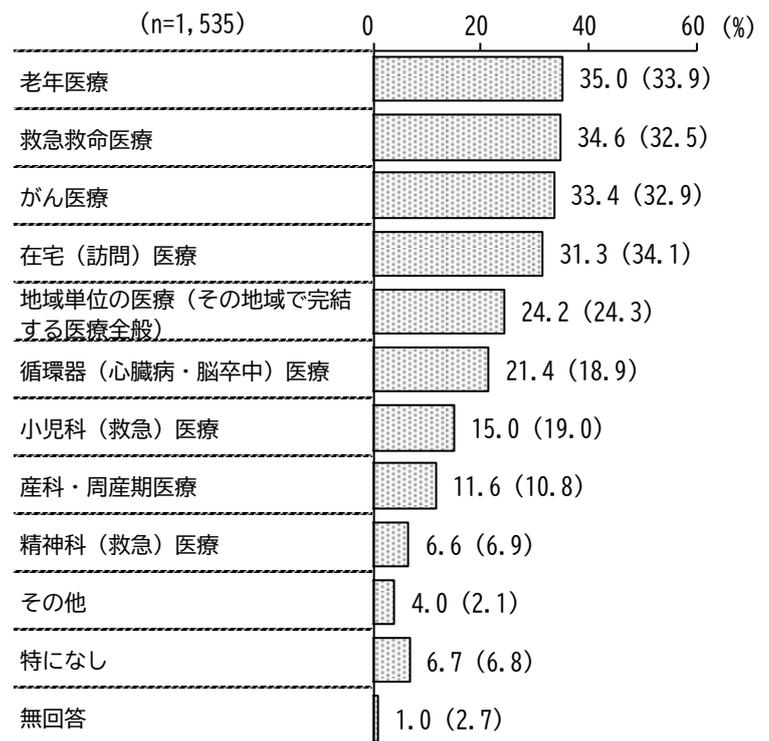


注) 下段の ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

#### (2) 今後、県に力を入れて欲しい医療

(複数回答:3つまで)

今後、県に力を入れて欲しい医療について聞いたところ、「老年医療」(35.0%)が3割台半ばで最も高く、以下、「救急救命医療」(34.6%)、「がん医療」(33.4%)、「在宅(訪問)医療」(31.3%)が続く。

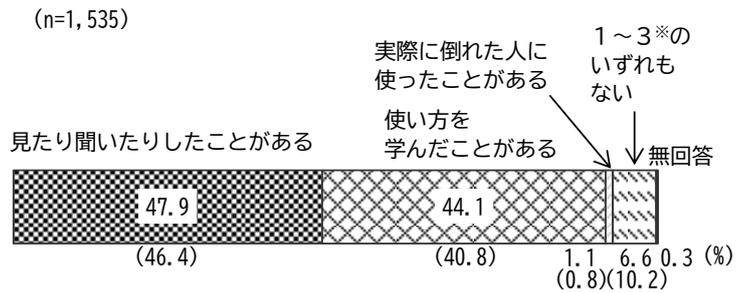


注) ( ) 書きは、令和元年度の調査結果を示している。

### (3)AEDの認知度・利用経験

AED（自動体外式除細動器）について見聞きしたり、使ったことがあるか聞いたところ、「見たり聞いたりしたことがある」（47.9%）が約5割、「使い方を学んだことがある」（44.1%）が4割台半ばとなっている。

一方、「1～3のいずれもない」（6.6%）は1割未満となっている。



注) 下段の（ ）書きは、令和4年度の調査結果を示している。

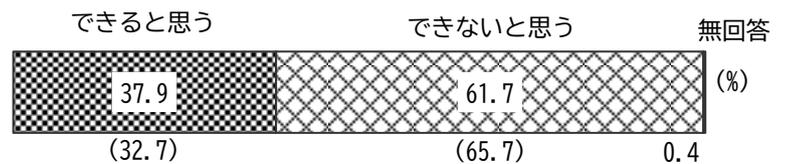
※ 1～3とは、「見たり聞いたりしたことがある」、「使い方を学んだことがある」、「実際に倒れた人に使ったことがある」を指します。

### (4)AEDを使用できるか

AEDを使用できるか聞いたところ、「できると思う」（37.9%）が約4割となっている。

一方、「できないと思う」（61.7%）は6割を超えている。

(n=1,535)

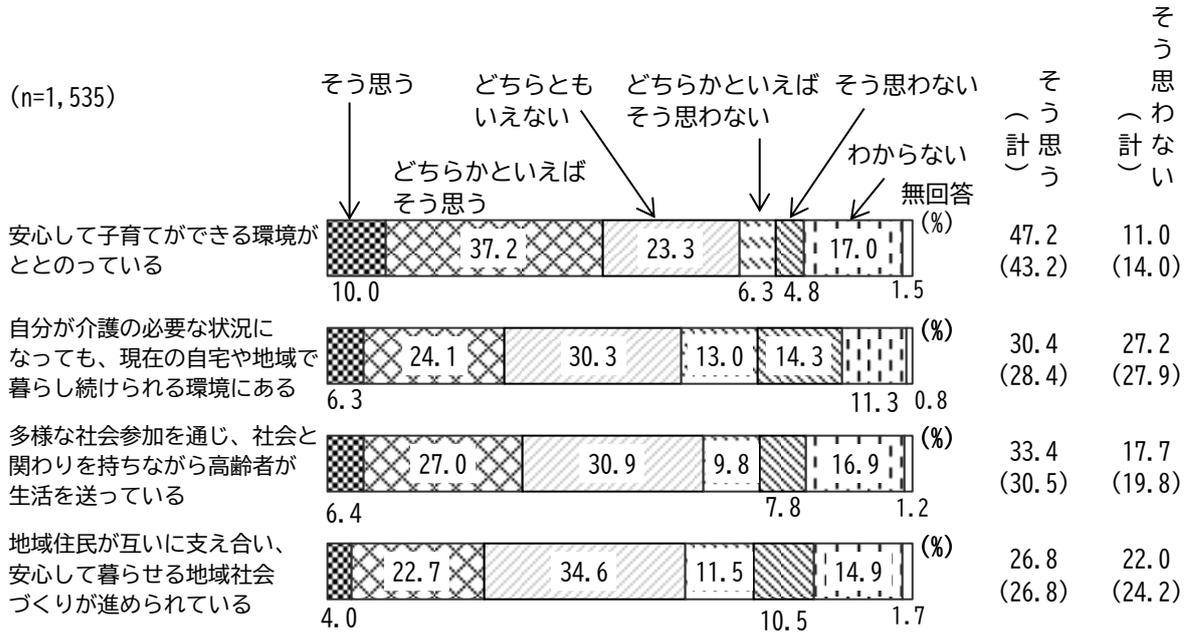


注) 下段の（ ）書きは、令和4年度の調査結果を示している。

注) 令和4年度では「できると思う」は「できる」、「できないと思う」は「できない」で実施

## 4 福祉について

### (1) 地域の福祉の状況について



注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

地域の福祉の状況に関する4項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う (計)』は、「安心して子育てができる環境がととのっている」(47.2%)で約5割、「多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(33.4%)が3割を超え、「自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(30.4%)が3割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない (計)』は、「自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(27.2%)で約3割となっており、「地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(22.0%)が2割を超え、「多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(17.7%)が約2割となっている。

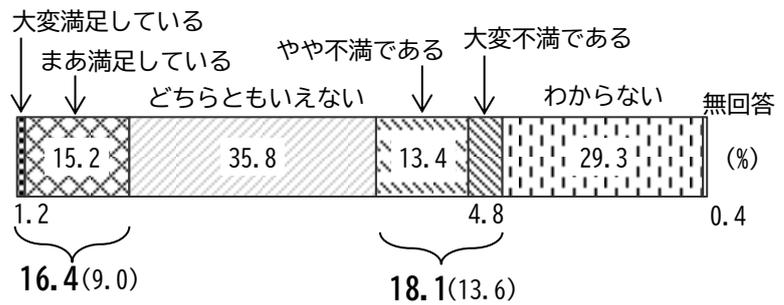
## (2)お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(1.2%)と「まあ満足している」(15.2%)を合わせた『満足している(計)』(16.4%)が1割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」(13.4%)と「大変不満である」(4.8%)を合わせた『不満である(計)』(18.1%)が約2割となっている。

また、「どちらともいえない」(35.8%)が3割台半ばとなっている。

(n=1,535)



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

注) 令和6年度調査では、設問文に「ご自身以外でも、ご家族やご近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。」を追加している。

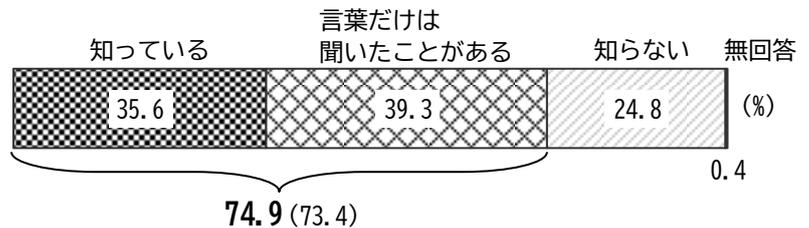
## (3)「共生社会」の認知度

「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」

(35.6%)と「言葉だけは聞いたことがある」(39.3%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(74.9%)が7割台半ばとなっている。

一方、「知らない」(24.8%)が2割台半ばとなっている。

(n=1,535)

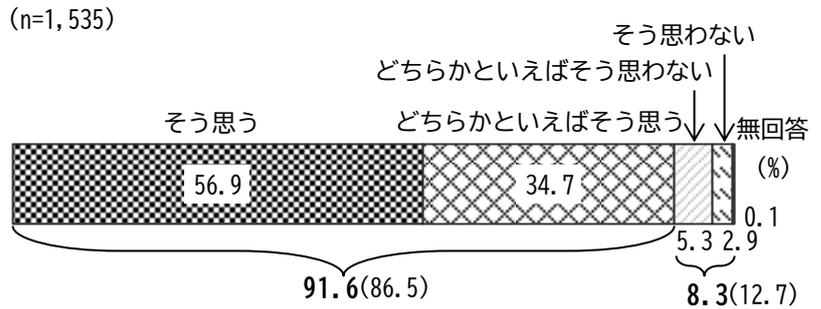


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## 5 県の農林水産物について

### (1) 千葉県産農林水産物の購入意向

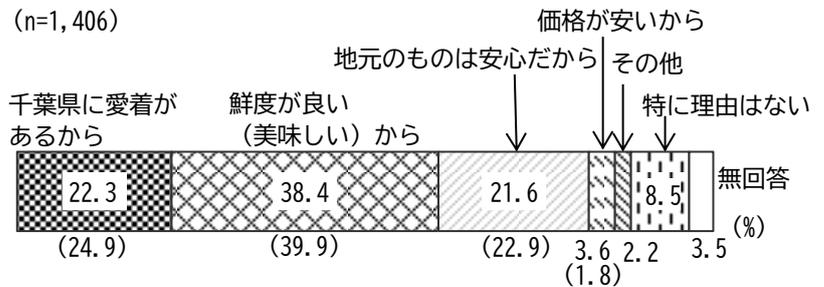
千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(56.9%)と「どちらかといえばそう思う」(34.7%)を合わせた『そう思う(計)』(91.6%)が9割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.3%)と「そう思わない」(2.9%)を合わせた『そう思わない(計)』(8.3%)は約1割となっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (1-1) 千葉県産農林水産物を購入したいと思う理由

千葉県産農林水産物を購入したいと回答した1,406人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「鮮度が良い(美味しい)から」(38.4%)が約4割で最も高く、以下、「千葉県に愛着があるから」(22.3%)、「地元のもの安心だから」(21.6%)が続く。

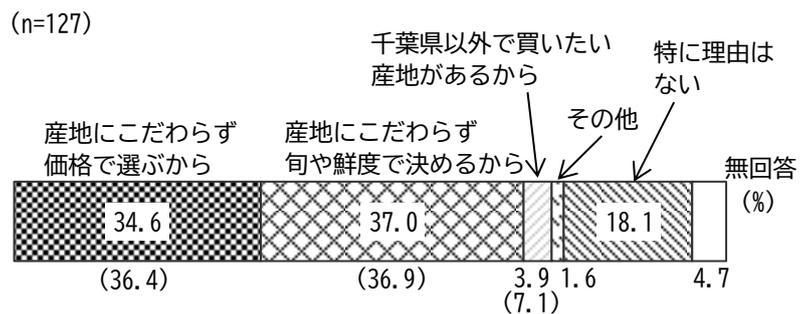


注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (1-2) 千葉県産農林水産物を購入したいと思わない理由

千葉県産農林水産物を購入したいと思わないと回答した127人を対象に、その主な理由を聞いたところ、「産地にこだわらず旬や鮮度で決めるから」(37.0%)が約4割で最も高く、以下、「産地にこだわらず価格で選ぶから」(34.6%)、「千葉県以外で買いたい産地があるから」(3.9%)が続く。

一方、「特に理由はない」(18.1%)が約2割となっている。

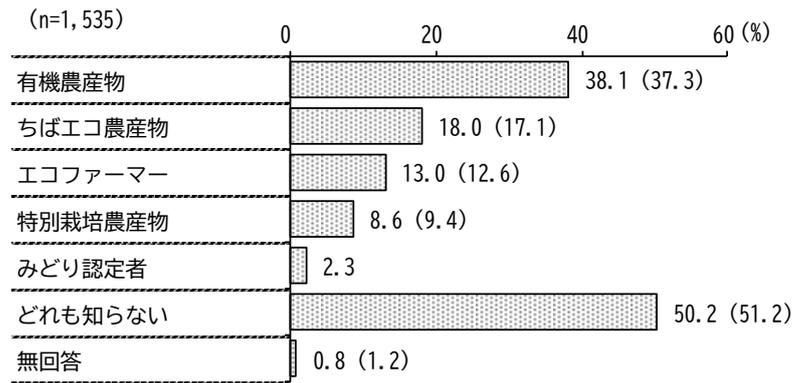


注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (2)環境にやさしい農産物や制度の認知度

(複数回答:いくつでも)

農薬や化学肥料の使用量の低減などに取り組む農業者・農産物や認証する制度を聞いたことがあるか聞いたところ、「有機農産物」(38.1%)が約4割で最も高く、以下、「ちばエコ農産物」(18.0%)、「エコファーマー」(13.0%)、「特別栽培農産物」(8.6%)が続く。

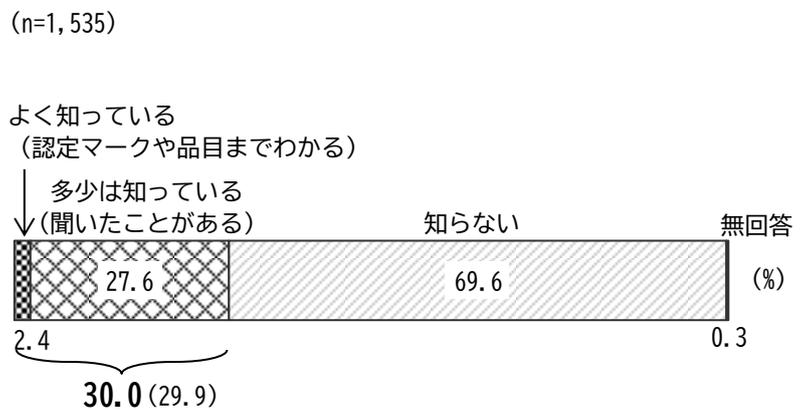


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (3)「千葉ブランド水産物」の認知度

「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている(認定マークや品目までわかる)」(2.4%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(27.6%)を合わせた『知っている(計)』(30.0%)が3割となっている。

一方、「知らない」(69.6%)が約7割となっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

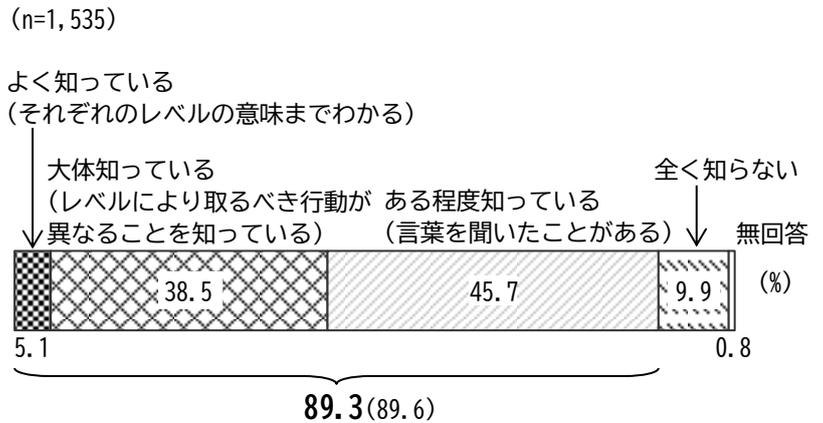
## 6 防災に関する取組について

### (1) 防災情報の警戒レベルの意味・取るべき行動の認知度

水害・土砂災害の防災情報の伝え方で、各警戒レベルの意味や、その際に取るべき行動について知っているか聞いたところ、「よく知っている（それぞれのレベルの意味までわかる）」

（5.1%）と「大体知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）」（38.5%）、「ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）」（45.7%）の3つを合わせた『知っている（計）』（89.3%）が約9割となっている。

一方、「全く知らない」（9.9%）が約1割となっている。

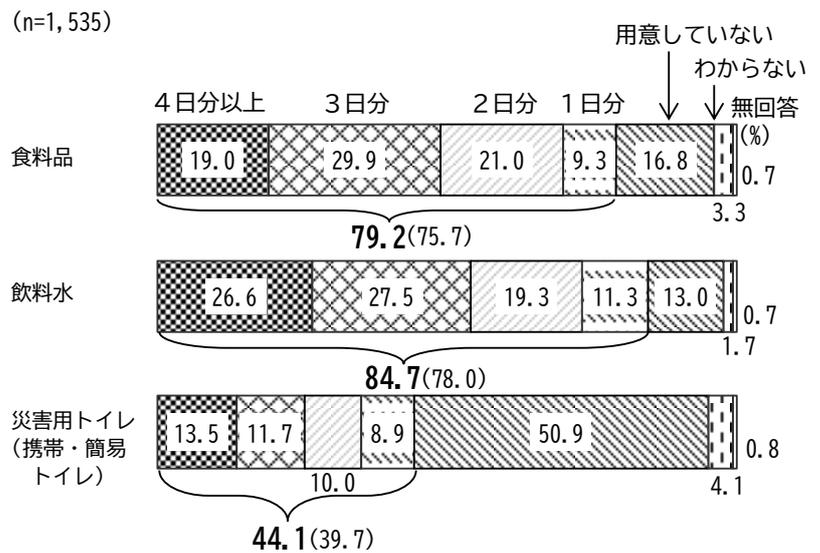


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (2) 飲料水や食料、災害用トイレ(簡易・携帯)の備蓄状況

災害時に利用できる食料品等を何日分用意しているか聞いたところ、「4日分以上」、「3日分」、「2日分」、「1日分」の4つを合わせた『用意している(計)』が最も高いのは、「飲料水」(84.7%)で8割台半ば、以下、「食料品」(79.2%)が約8割、「災害用トイレ(携帯・簡易トイレ)」(44.1%)が4割台半ばとなっている。

一方、「用意していない」が最も高いのは、「災害用トイレ(携帯・簡易トイレ)」(50.9%)で5割となっており、以下、「食料品」(16.8%)が1割台半ば、「飲料水」(13.0%)が1割を超えている。



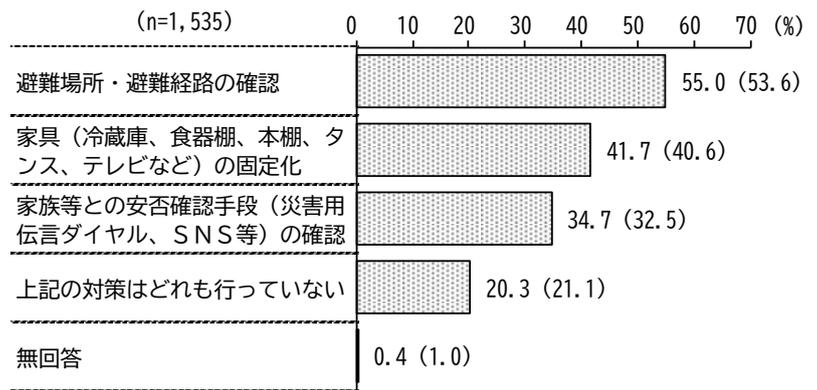
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (3)地震や台風などの災害への対策

(複数回答:いくつでも)

地震や台風などの災害に備えて、どのような対策を行っているか聞いたところ、「避難場所・避難経路の確認」(55.0%)が5割台半ばで最も高く、以下、「家具(冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど)の固定化」(41.7%)、「家族等との安否確認手段(災害用伝言ダイヤル、SNS等)の確認」(34.7%)が続く。

一方、「上記の対策はどれも行っていない」(20.3%)が2割となっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

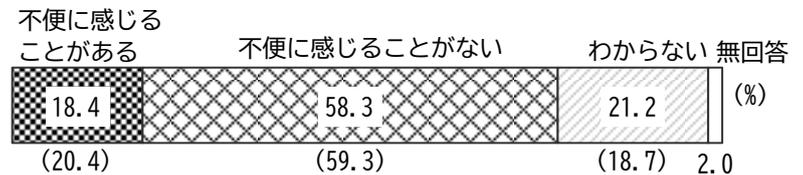
## 7 公金のキャッシュレス化の推進について

### (1)公金の納付に当たり不便と感じることの有無

税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感じることがあるかを聞いたところ、「不便を感じることもある」(18.4%)が約2割となっている。

一方、「不便を感じることはない」(58.3%)が約6割となっている。

(n=1,535)

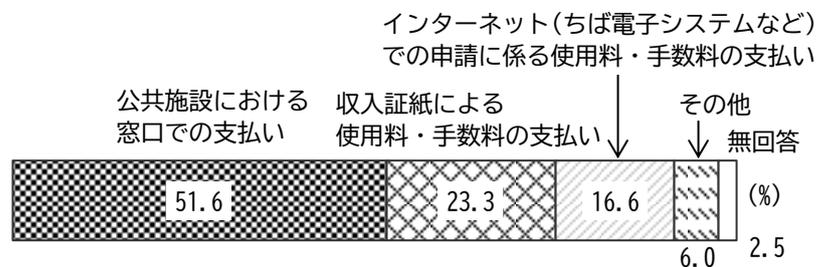


注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (1-1)キャッシュレス決済を拡大すべきだと思う場面

公金の納付にあたり「不便を感じることもある」と回答した283人を対象に、県がキャッシュレス決済を拡大するとした場合、特に、どの場面で拡大すべきだと思うかを聞いたところ、「公共施設における窓口での支払い」(51.6%)が5割を超えて最も高く、以下、「収入証紙による使用料・手数料の支払い」(23.3%)、「インターネット(ちば電子システムなど)での申請に係る使用料・手数料の支払い」(16.6%)と続く。

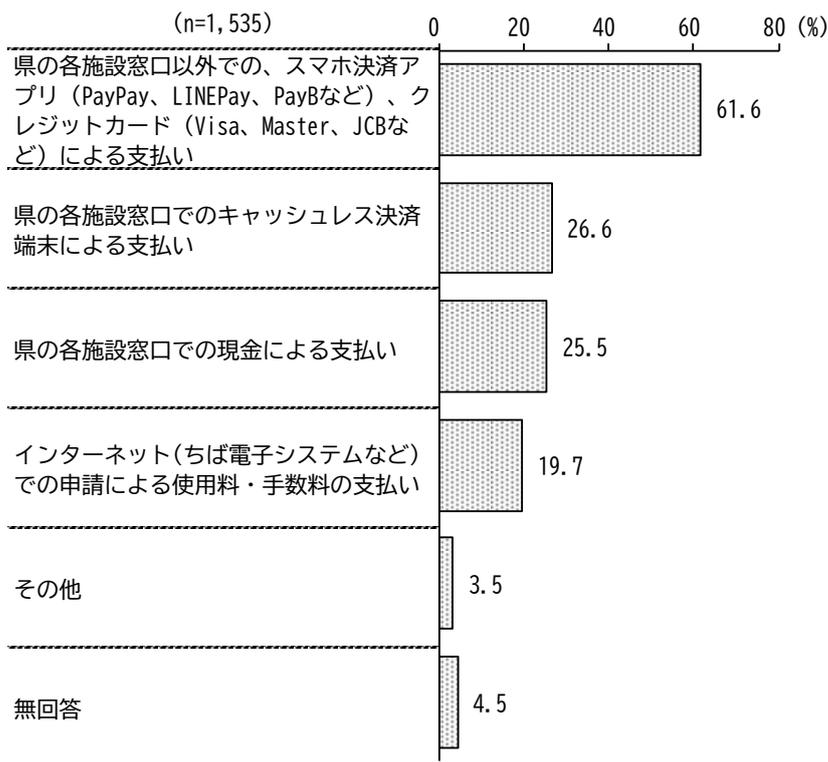
(n=283)



## (2) 便利だと思う公金の納付方法

(複数回答:いくつでも)

便利だと思う公金の納付方法を聞いたところ、「県の各施設窓口以外での、スマホ決済アプリ（PayPay、LINEPay、PayBなど）、クレジットカード（Visa、Master、JCBなど）による支払い」（61.6%）が6割を超えて最も高く、以下、「県の各施設窓口でのキャッシュレス決済端末による支払い」（26.6%）、「県の各施設窓口での現金による支払い」（25.5%）、「インターネット（ちば電子システムなど）での申請による使用料・手数料の支払い」（19.7%）が続く。

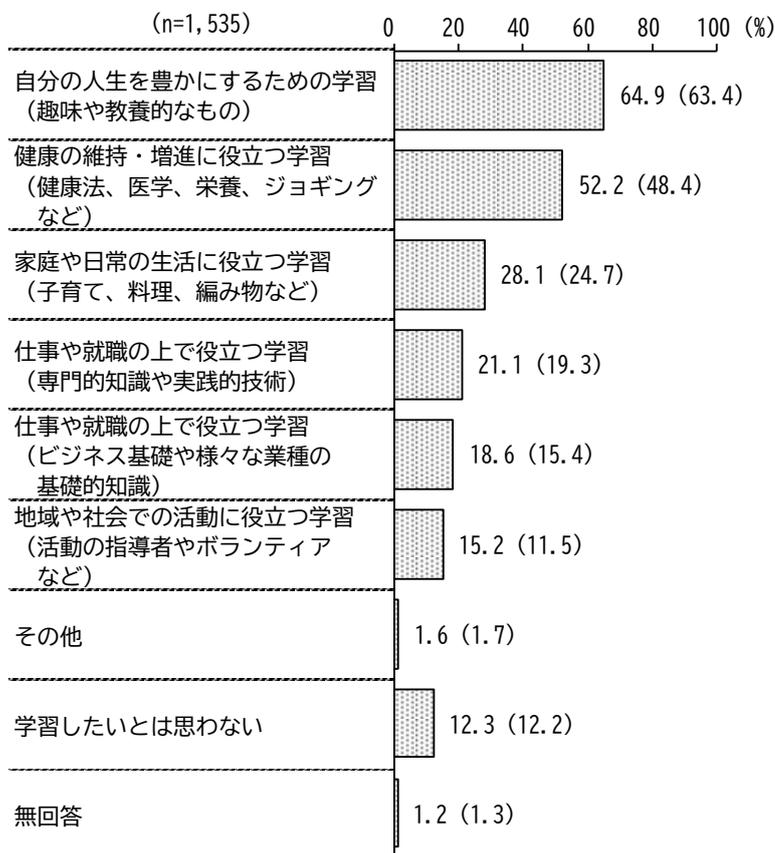


## 8 生涯学習について

### (1) 今後学習したいと思うこと

(複数回答:いくつでも)

今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」（64.9%）が6割台半ばで最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」（52.2%）、「家庭や日常生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」（28.1%）、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」（21.1%）が続く。  
一方、「学習したいとは思わない」（12.3%）が1割を超えている。



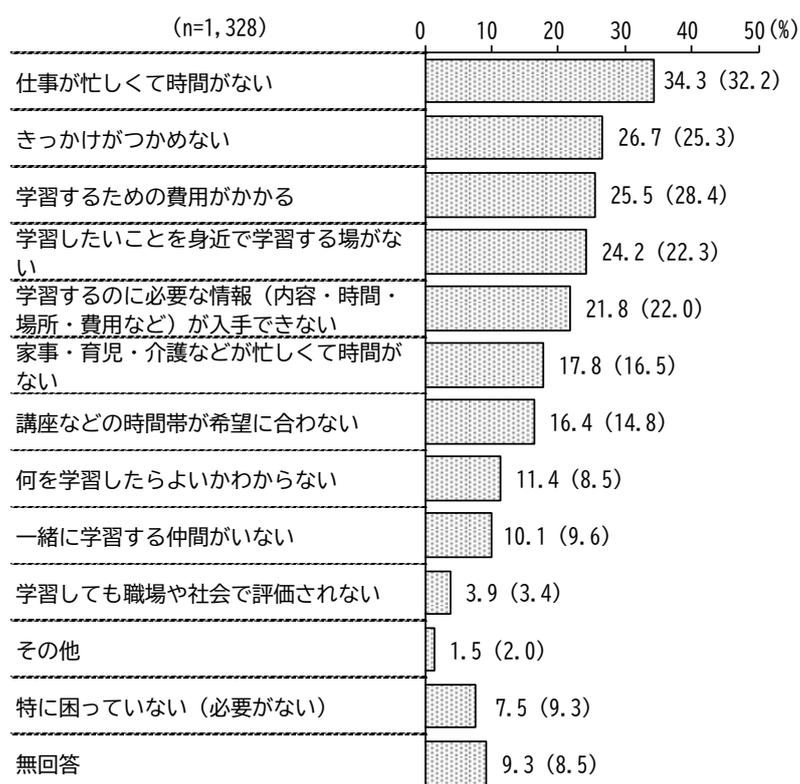
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (1-1) 学習する上で困っていること

(複数回答:いくつでも)

「学習したいとは思わない」以外を回答した1,328人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」(34.3%)が3割台半ばで最も高く、以下、「きっかけがつかめない」(26.7%)、「学習するための費用がかかる」(25.5%)、「学習したいことを身近で学習する場がない」(24.2%)が続く。

一方、「特に困っていない(必要がない)」(7.5%)が約1割となっている。



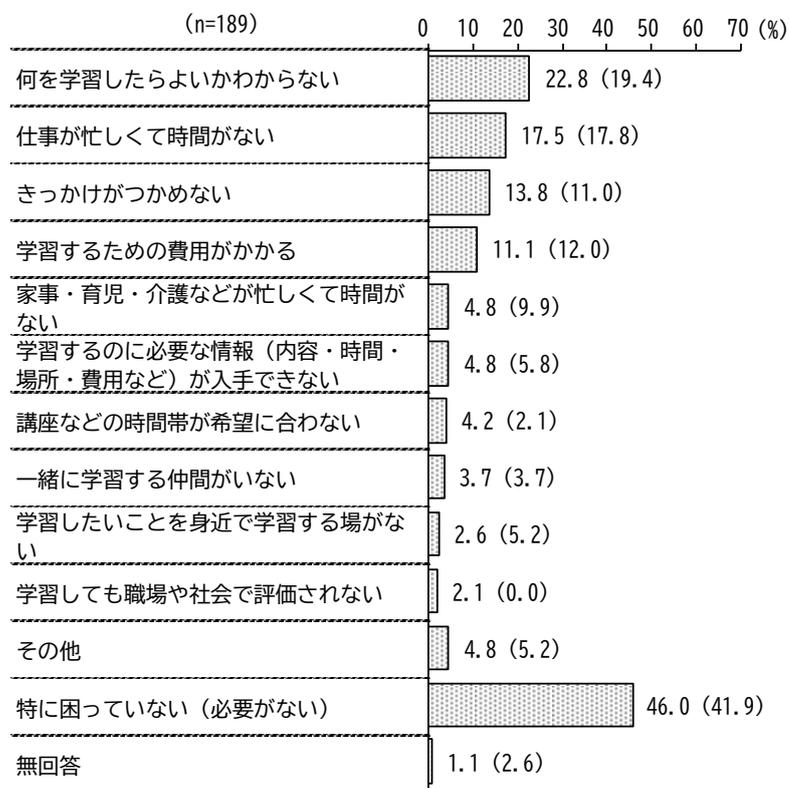
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (1-2) 学習したいと思わない理由

(複数回答:いくつでも)

「学習したいとは思わない」と回答した189人に、学習したいと思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」(22.8%)が2割を超えて最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」(17.5%)、「きっかけがつかめない」(13.8%)、「学習するための費用がかかる」(11.1%)が続く。

一方、「特に困っていない(必要がない)」(46.0%)が4割台半ばとなっている。



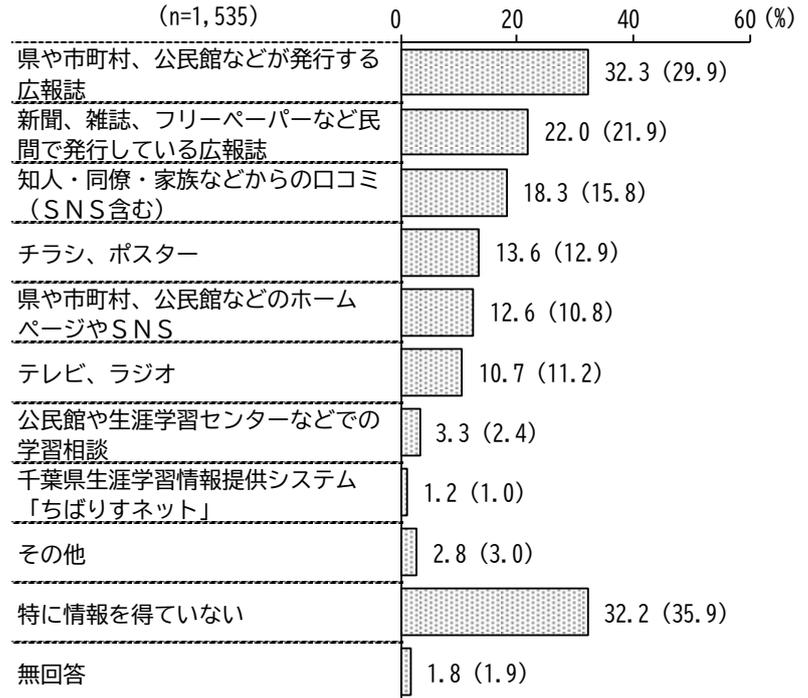
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (2)生涯学習の情報を得る手段

(複数回答:いくつでも)

生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」(32.3%)が3割を超え、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」(22.0%)、「知人・同僚・家族などからの口コミ(SNS含む)」(18.3%)、「チラシ、ポスター」(13.6%)が続く。

一方、「特に情報を得ていない」(32.2%)が3割を超えている。



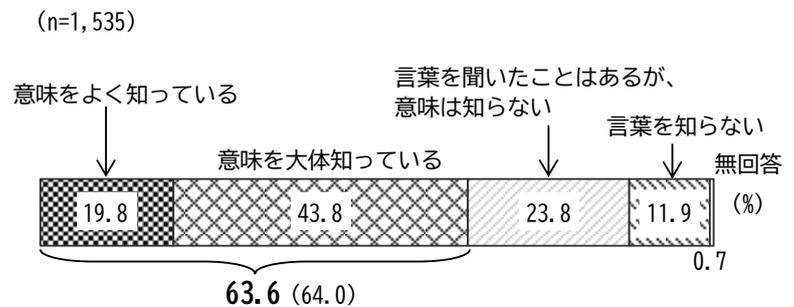
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## 9 SDGs・多様性尊重等について

### (1)SDGsの言葉の認知度

SDGsの言葉の意味を知っているか聞いたところ、「意味をよく知っている」(19.8%)と「意味を大体知っている」(43.8%)を合わせた『意味を知っている(計)』(63.6%)が6割台半ばとなっている。

一方、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(23.8%)が2割台半ば、「言葉を知らない」(11.9%)が1割を超えている。

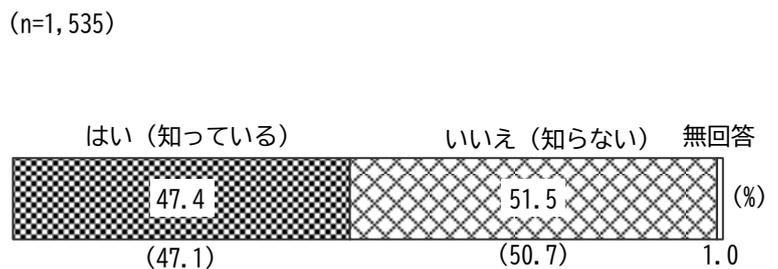


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

### (2)「ダイバーシティ」概念の認知度

「ダイバーシティ」という概念を知っているか聞いたところ、『はい(知っている)』(47.4%)が約5割となっている。

一方、『いいえ(知らない)』(51.5%)が5割を超えている。

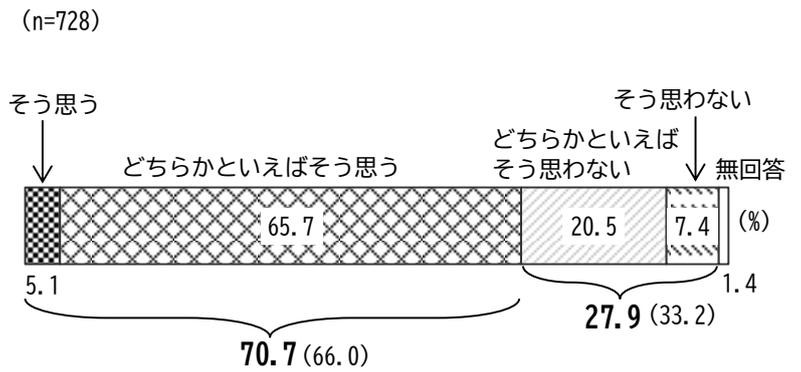


注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (2-1)千葉県における「ダイバーシティ社会」の実現について

ダイバーシティの概念を知っている728人を対象に、千葉県でダイバーシティ社会が実現できているか聞いたところ、「そう思う」(5.1%)と「どちらかといえばそう思う」(65.7%)を合わせた『そう思う(計)』(70.7%)が7割となっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(20.5%)と「そう思わない」(7.4%)を合わせた『そう思わない(計)』(27.9%)が約3割となっている。

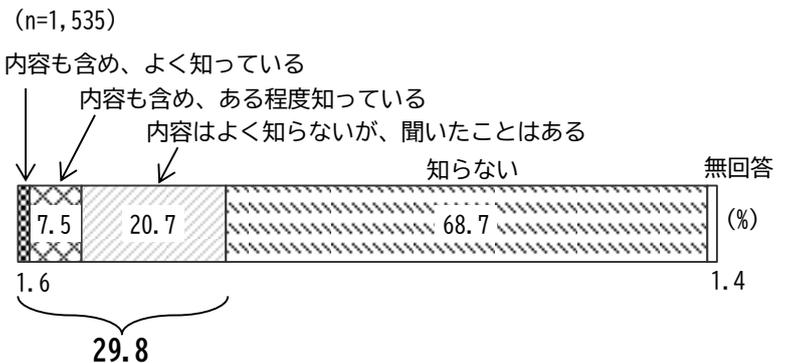


注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (3)「多様性尊重条例」の認知度

「多様性尊重条例」について知っているか聞いたところ、「内容も含め、よく知っている」(1.6%)、「内容も含め、ある程度知っている」(7.5%)、「内容はよく知らないが、聞いたことはある」(20.7%)の3つを合わせた『聞いたことがある(計)』(29.8%)が約3割となっている。

一方、「知らない」(68.7%)が約7割となっている。

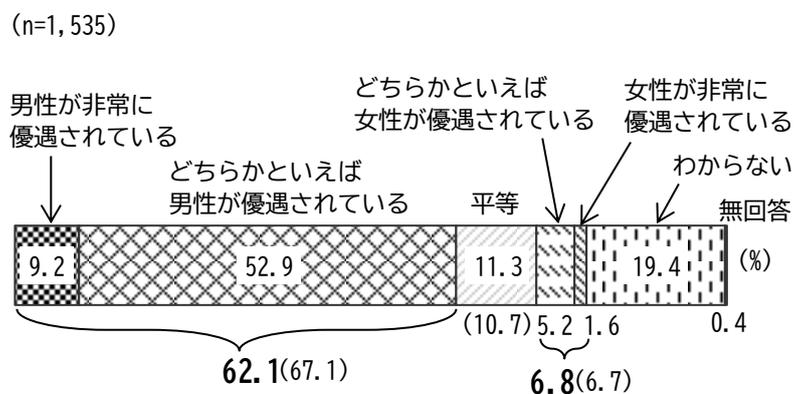


## (4)社会全体での男女の地位の平等感

社会全体で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「男性が非常に優遇されている」(9.2%)と「どちらかといえば男性が優遇されている」(52.9%)を合わせた『男性が優遇されている(計)』(62.1%)が6割を超えている。

一方、「どちらかといえば女性が優遇されている」(5.2%)と「女性が非常に優遇されている」(1.6%)を合わせた『女性が優遇されている(計)』(6.8%)は1割未満となっている。

「平等」(11.3%)は1割を超えている。

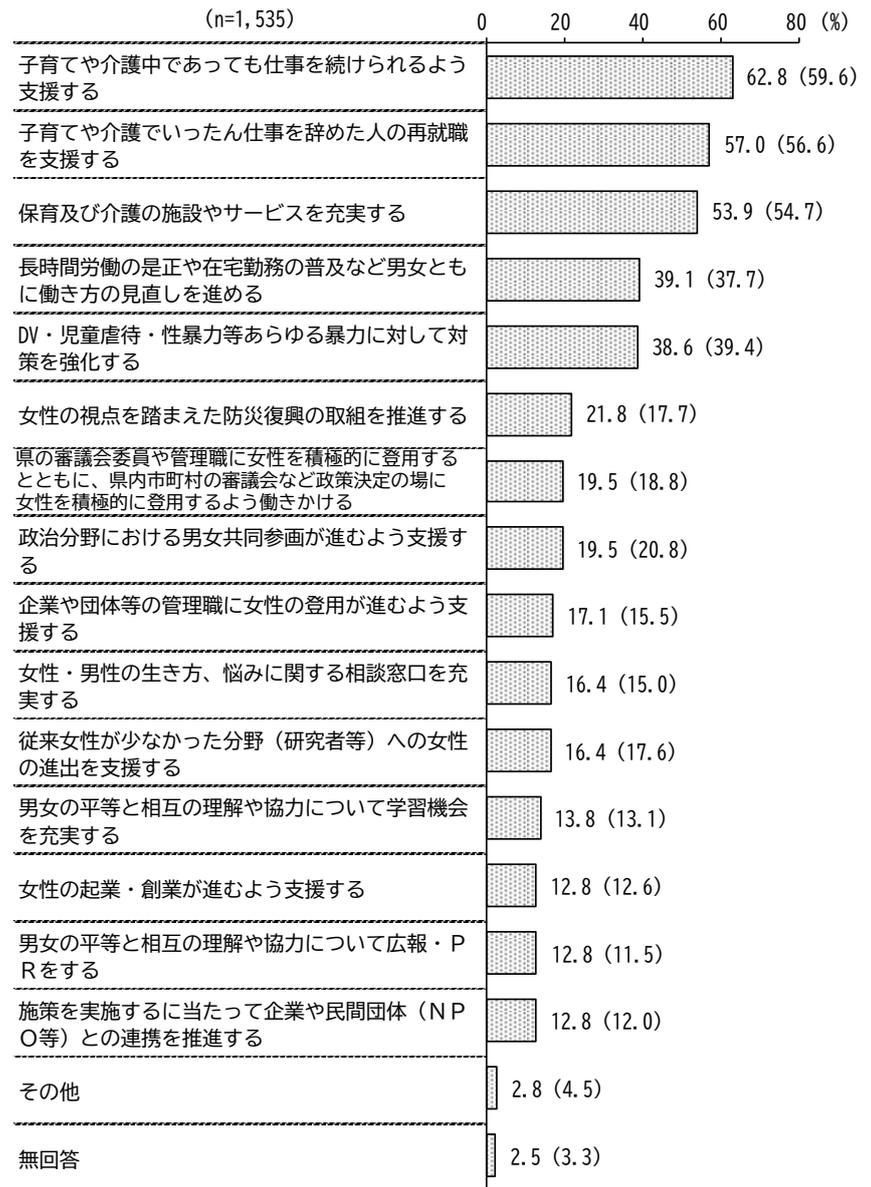


注) 下段の ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

## (5)男女共同参画社会を実現するための取組

(複数回答:いくつでも)

男女共同参画社会を実現するために今後県が力を入れるべき取組を聞いたところ、「子育てや介護中であっても仕事を続けられるよう支援する」(62.8%)が6割を超えて最も高く、以下、「子育てや介護でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(57.0%)、「保育及び介護の施設やサービスを充実する」(53.9%)、「長時間労働の是正や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」(39.1%)が続く。



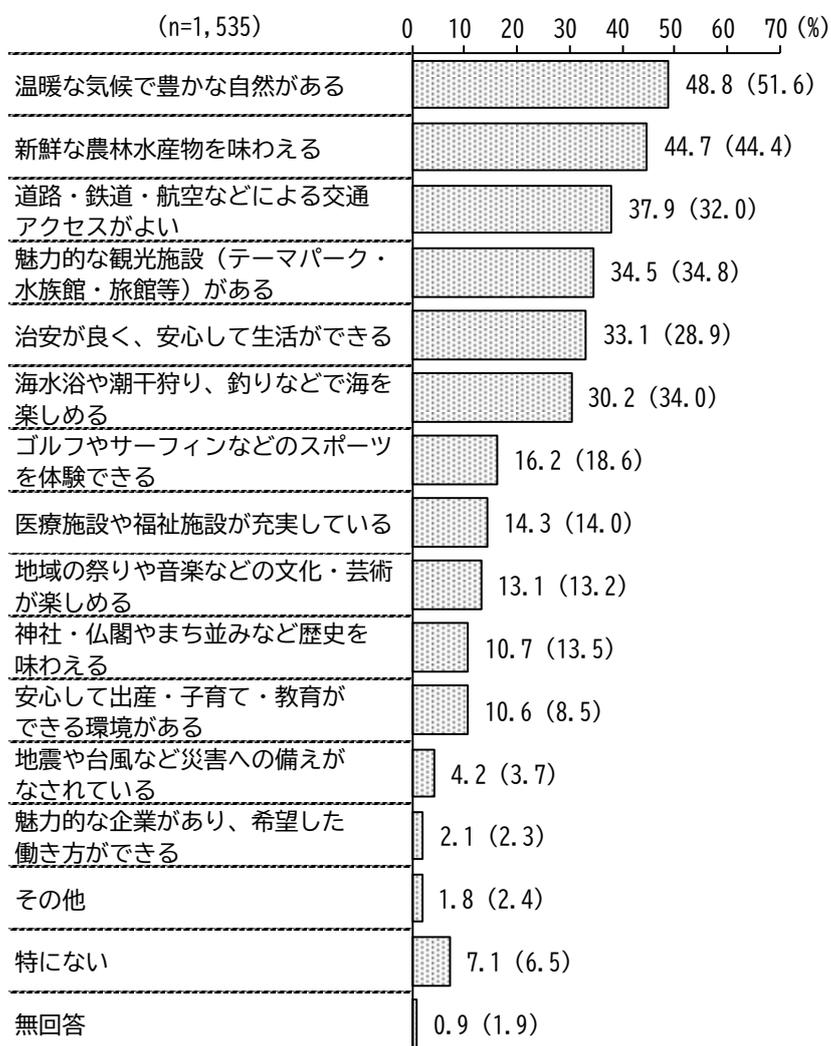
注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

# 10 県の魅力について

## (1) 千葉県の魅力

(複数回答:いくつでも)

千葉県の魅力を聞いたところ、「温暖な気候で豊かな自然がある」(48.8%)が約5割で最も高く、以下、「新鮮な農林水産物を味わえる」(44.7%)、「道路・鉄道・航空などによる交通アクセスがよい」(37.9%)、「魅力的な観光施設(テーマパーク・水族館・旅館等)がある」(34.5%)が続く。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

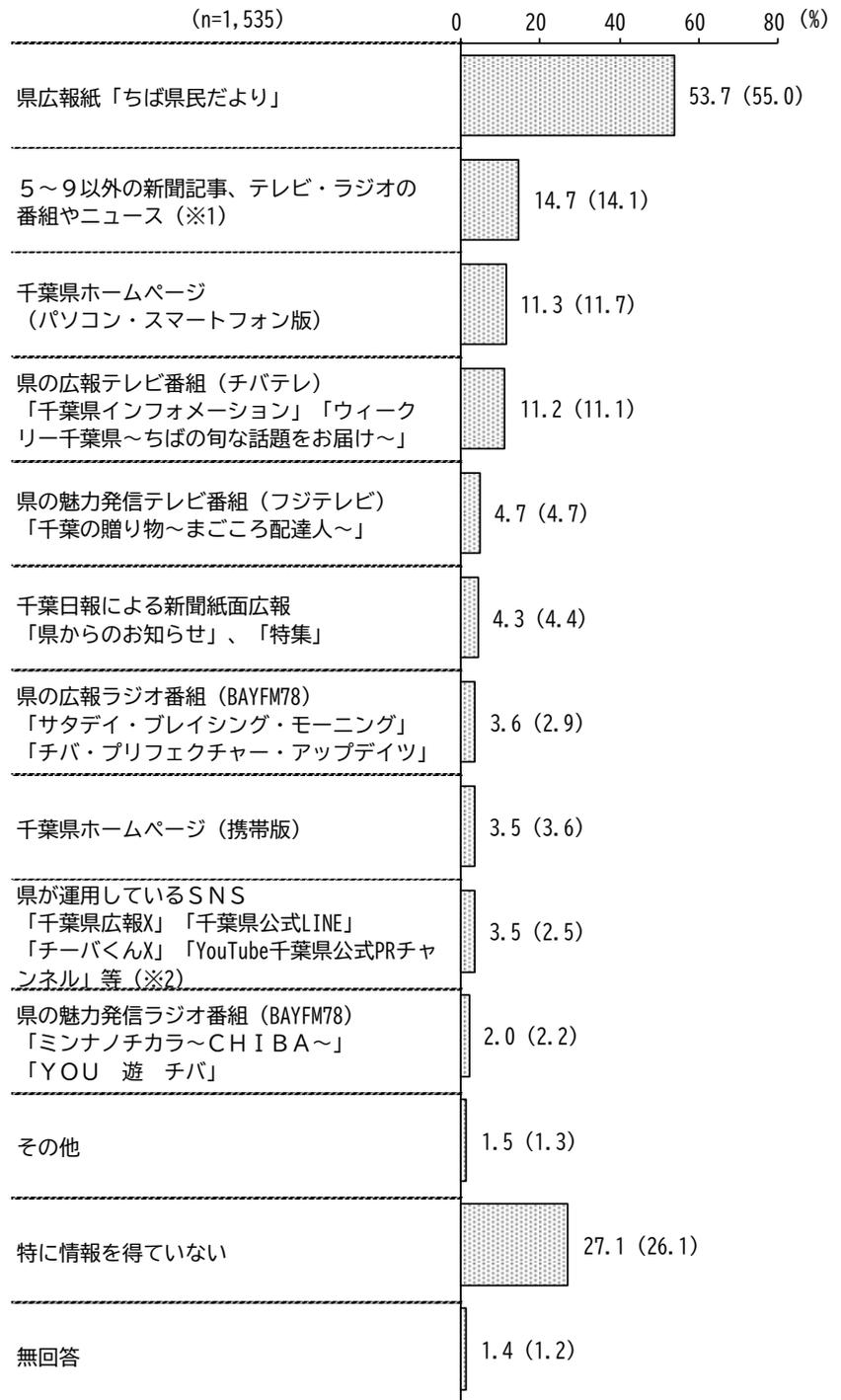
# 11 広報について

## (1) 県政に関する情報を得る手段

(複数回答:いくつでも)

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(53.7%)が5割台半ばで最も高く、以下、「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(14.7%)、「千葉県ホームページ(パソコン・スマートフォン版)」(11.3%)、「県の広報テレビ番組(チバテレ)『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」(11.2%)が続く。

一方、「特に情報を得ていない」(27.1%)は約3割となっている。



注) ( ) 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

(※1) 「5～9以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、5～9とは、「千葉日報による新聞紙面広報『県からのお知らせ』、『特集』」「県の広報テレビ番組(チバテレ)『千葉県インフォメーション』『ウィークリー千葉県～ちばの旬な話題をお届け～』」「県の広報ラジオ番組(BAYFM78)『サタデイ・ブレイジング・モーニング』『チバ・プリフェクチャー・アップデート』」「県の魅力発信テレビ番組(フジテレビ)『千葉の贈り物～まごころ配達人～』」「県の魅力発信ラジオ番組(BAYFM78)『ミンナノチカラ～CHIBA～』『YOU遊チバ』」を指す。

(※2) 令和5年度調査では「県が運用しているSNS『千葉県広報Twitter』『千葉県公式LINE』『YouTube千葉県公式PRチャンネル』等」

## 自由回答(抜粋)

県や世論調査への意見を自由に記述していただいたところ、225人から延べ299件の回答が寄せられた。

記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形で整理した。意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

### ◆県政全般に関する要望

- 千葉県は東西南北に広く他県と異なった特色を持つ地域になっているのでそれぞれの特色に合った政策が必要です。(男性、75歳以上、印旛地域)
- 物価上昇による補助を千葉県としても考えていただきたい。物価上昇によりさらに一生懸命働かないと生活できず、文化や老後、災害など気にしている余裕がない。(男性、40代、東葛飾地域)

### ◆道路を整備する

- 歩道のない通学路の改善は早急をお願いしたいです。スクールバスの検討もお願いします。また、交通量の多い道路で歩道が非常に狭く危険です。子供だけでは歩かせられません。(男性、30代、千葉地域)

### ◆公共交通網(バス・鉄道)を整備する

- 免許を返納したらどこ行くにも歩いて行かなくてはなりません。足が痛かったりするとタクシーに頼らなければならないので多少の補助があると助かります。(女性、75歳以上、千葉地域)

### ◆高齢者の福祉を充実する

- 同居の高齢者両親が、日常生活に支障が出てきたらどうすれば良いかわからず、不安である。(男性、40代、千葉地域)

### ◆災害から県民を守る

- 地球温暖化により台風10号のように過去の常識は見直しが必要になってきていると思います。特に河川は堤防の高さ不足、盛土材料の変更等急変する雨量に耐えうる見直しをすぐにも行う必要があると思います。(男性、75歳以上、東葛飾地域)

### ◆医療サービス体制を整備する

- 医療・介護の充実、特に病院が少なくワクチン(コロナ)の接種の時困った。介護ももっと充実させて欲しい。(女性、50代、東葛飾地域)

### ◆次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 子育てや育児に対しての支援をもっとして欲しい。色々と物価が上がり生活が大変な家庭もあると思うからもっと充実して欲しいと思っています。(男性、20代、安房地域)

### ◆県政の情報発信について

- 正直千葉県政についての情報をほとんど知らなかった。興味があり自ら情報を取得しようとしている人以外はほとんどの人が知らないのではと思った。もっと県民に県政について知ってもらえるよう何か取り組みが必要だと感じた。(男性、30代、葛南地域)

「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、54人から54件の回答が寄せられた。人数・件数には前問の「設問への意見」に記入された世論調査への意見も含む。

これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

#### ◆世論調査について

##### 《世論調査自体への意見》

- なぜ選ばれたかわかりませんが、県民の意見を聞く機会があるのはいい事だと思います。どれくらいの人に聞いているのかわかりませんが、もっと多くの機会、人数の意見の場は多くなるとさらにいいですね。  
(女性、40代、東葛飾地域)
- 生まれも育ちも千葉県ですが、初めてこの世論調査を受けました。選挙には投票に行きますが、県政について知らないことが多かったので、もう少し興味を持つべきだと感じました。  
(女性、30代、東葛飾地域)
- 県政の世論調査を通して、自分と社会の関係の再認識やこれからの社会についての新たな知識を得る良い機会になったと思います。  
(男性、30代、長生地域)
- 実際の回答時間は、約一時間かかり（資料を読みながら行っていたのが原因と思います）見直しを含めて結構大変でした。インターネット回答を含めて、このような調査に参加するのは初めてですができる限り県政に参加できる機会を利用したいです。  
(男性、70～74歳、千葉地域)
- この結果を分かりやすいかたちで公表し、どう意見が反映されたのかまで教えてほしい。  
(女性、30代、千葉地域)
- 調査だけでなく目に見える実行をお願いします。  
(男性、75歳以上、海匝地域)

##### 《調査手法や謝礼への意見》

- 初めて世論調査に回答しましたが、自宅のPCから入力ができるのは大変便利で良いと思いました。  
(女性、40代、東葛飾地域)
- あらゆる方法で調査されているのは良い事です。紙での回答もOKなのは素晴らしい！  
(男性、65～69歳、印旛地域)
- インターネットでの回答が簡単でわかりやすくとても良かったです！ただ、詐欺とか怪しい封筒だと思い、捨ててしまう人も居ると思うので県政に関する世論調査というものがある事をもっと色々な人に知って貰える何かがあれば良いなと思いました。ボールペンは可愛くて凄く嬉しかったです！ありがとうございました！（性別回答しない、30代、印旛地域）
- チーバくんのボールペンが入っているのが良かった。（封筒を開けようと思えた）  
(女性、30代、安房地域)
- チーバくんのボールペンではなくてクオカードにして下さい。  
(性別・年齢無回答、葛南地域)

## 自由回答(抜粋)

今回のアンケート調査における「設問に関する意見」を自由に記述していただいたところ、154人から32件の回答が寄せられた。「県や世論調査への意見」に記述された意見のうち、「設問への意見」に該当するものもこちらに振り分けている。なお、回答者数より記述件数が少ないのは、その多くが「県や世論調査への意見」に該当するものであったため、そちらに振り分けたことに依るものである。

- 自由に書くところを多くとって欲しい。せっかくのチャンスなので。又、ふだんでも県民の声を自由に届けられるシステムを作って欲しい。ホームページとかできない、見られない人にも優しい対応を。  
(女性、70～74歳、千葉地域)
- かなり広範囲に質問があり、普段気にしてないことまで考えさせられた。  
(男性、50代、葛南地域)
- 設問が多いので大変でした。途中でやめたくまりました。  
(性別回答しない、40代、東葛飾地域)
- 高齢のため質問の内容が理解できない点が多い。  
(女性、75歳以上、千葉地域)
- 現在は健康、生活にもあまり心配はしておりませんが、いずれはこの中にあてはまる必要とするものがあるのかなと思い記入しました。  
(女性、75歳以上、千葉地域)
- 「少子化による人口減少で消滅するような自治体をどのように考えているのか」「後継者の減少による農地(水田他)荒廃の増加をどうするのか」のような事柄も本調査に取り上げて欲しかった。  
(男性、70～74歳、長生地域)